

資料編

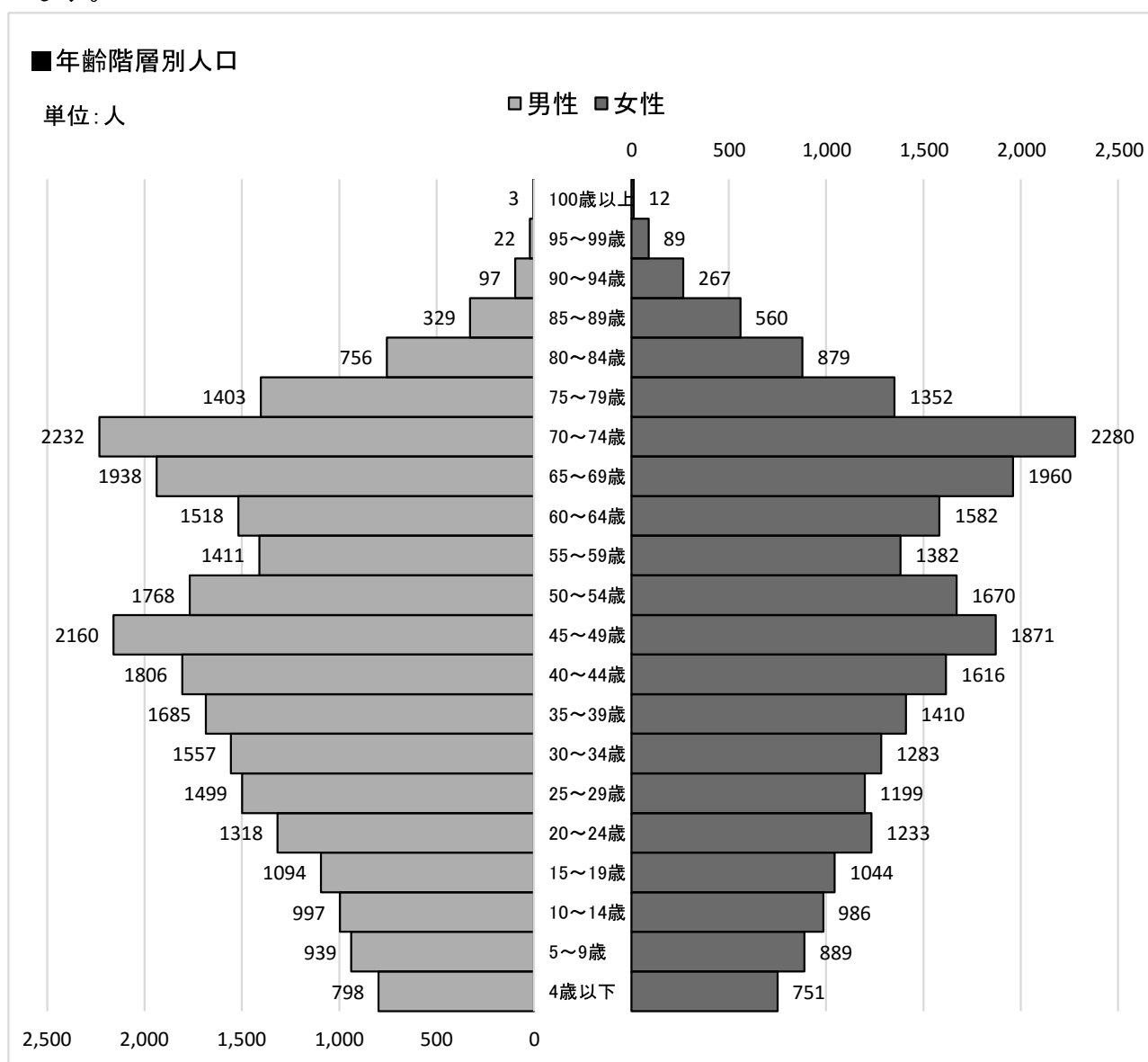
I 統計

1 人口・世帯数の推移

(1) 年齢階層別人口

令和3年（2021年）の年齢別階層人口を見ると、45～49歳の世代が男女ともに各年代2,000人前後、70～74歳の世代が男女ともに2,200人前後と特に多くなっています。

また、45～49歳以下の年代については、年齢が低くなるにつれて、段階的に人口が少なくなっています。

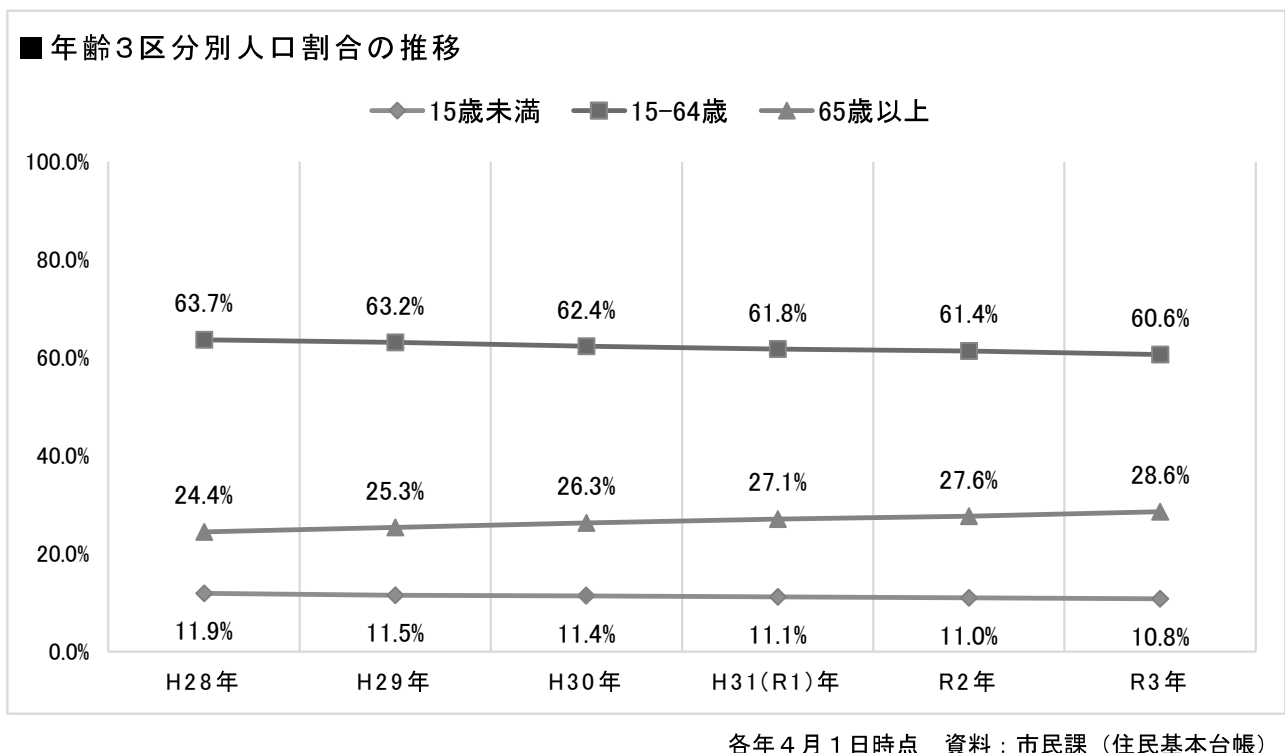
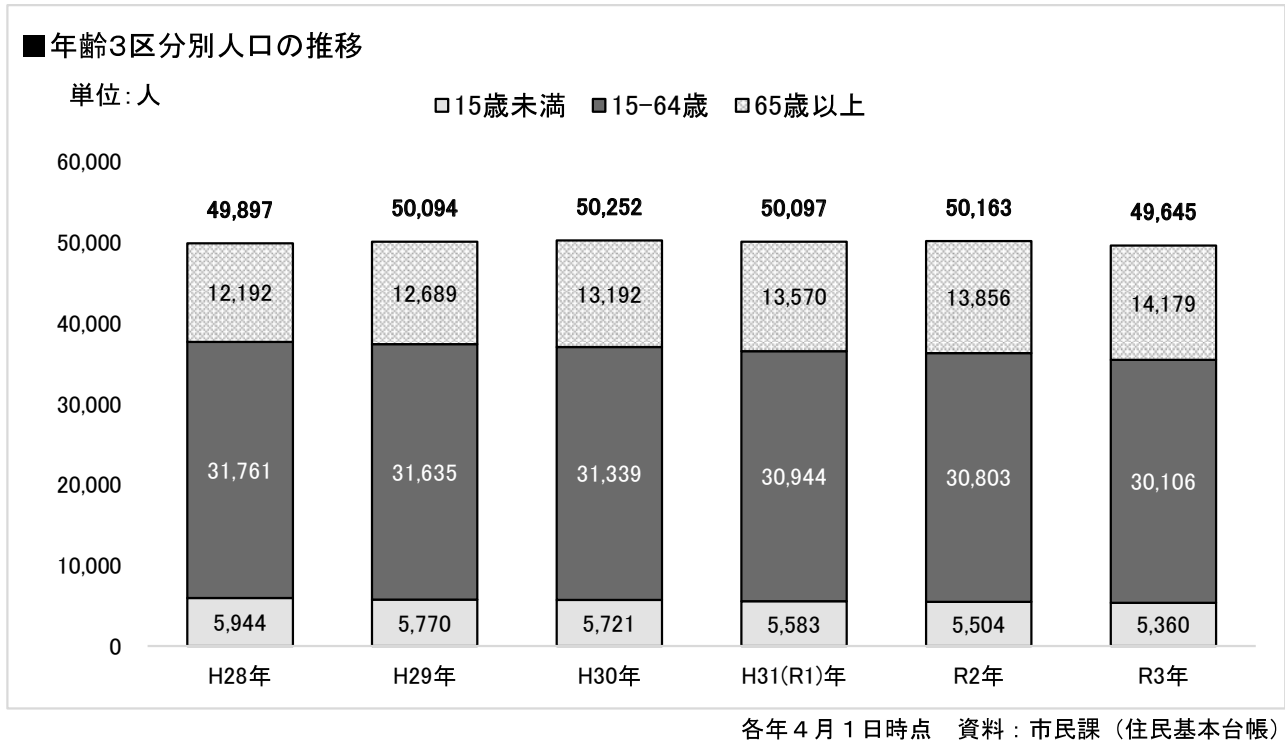


令和3年4月1日時点 資料：市民課（住民基本台帳）



(2) 人口の推移

年齢3区分別人口の推移を見ると、平成28年以降、50,000人前後の横ばい状態が続いています。また、15歳未満人口の割合は減少する一方で65歳以上人口の割合は増加しており、少子高齢化が進行しています。



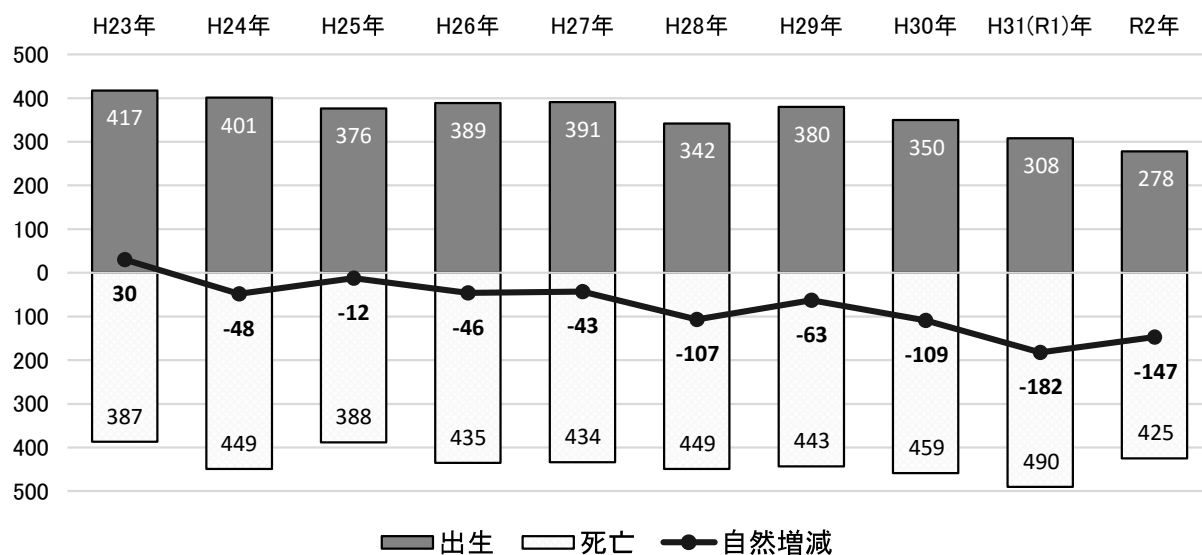
(3) 人口動態の推移

■自然増減

本市の自然増減（出生・死亡者数）の推移をみると、平成24年から、死亡者数が出生数を上回っており、自然減が続いています。

■出生・死亡者数の推移(自然増減)

単位:人



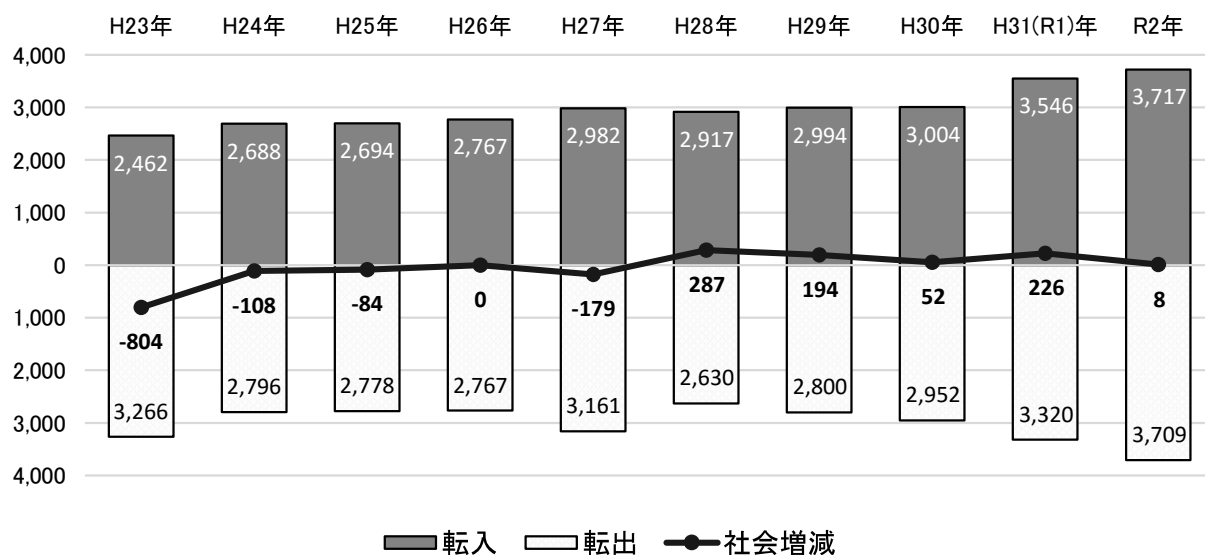
各年1月1日現在 資料：千葉県毎月常住人口調査（年報）

■社会増減

本市の社会増減（転入・転出者数）の推移をみると、平成28年から増加に転じ、緩やかな社会増が続いています。

■転入・転出者数の推移(社会増減)

単位:人

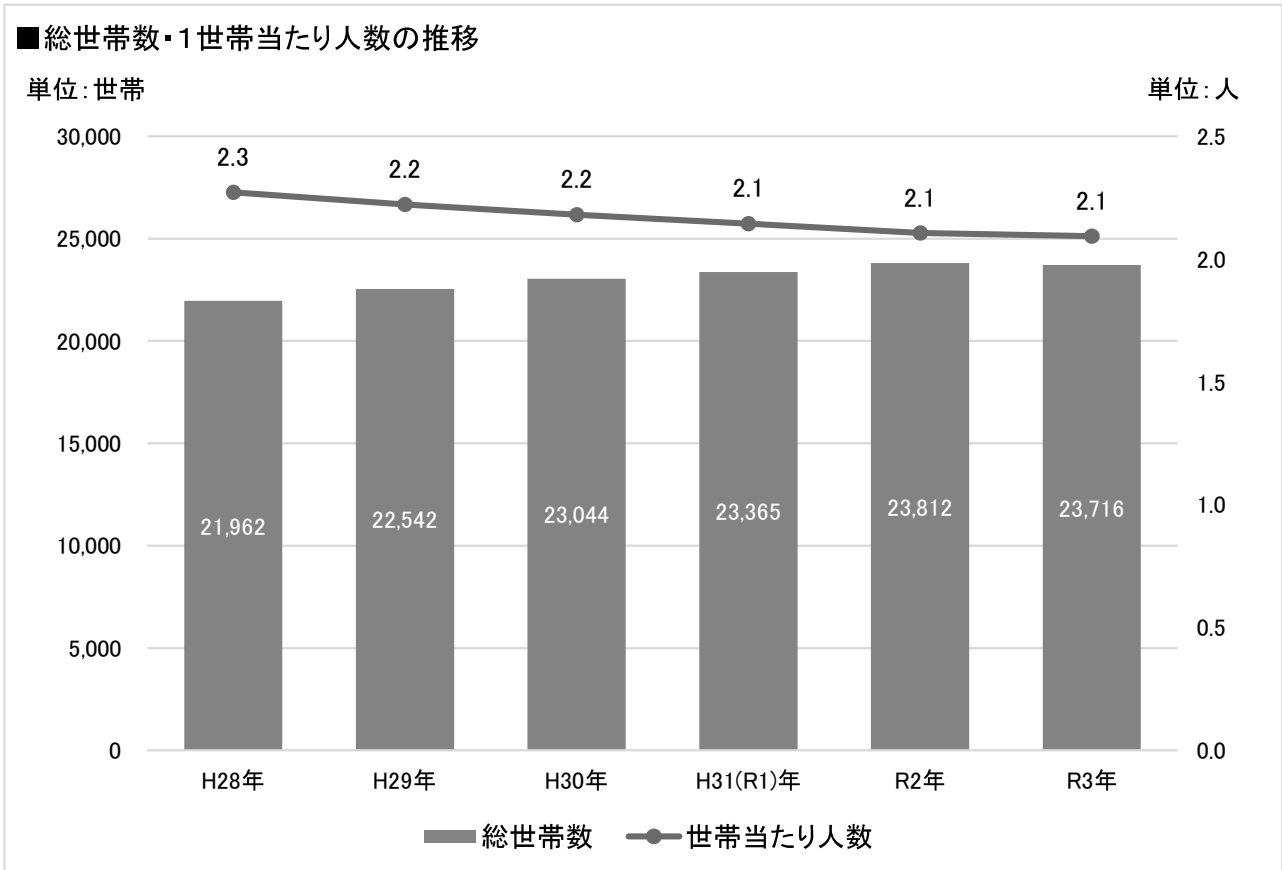


各年1月1日現在 資料：千葉県毎月常住人口調査（年報）



■総世帯数と1世帯当たりの人数の推移

総世帯数の推移をみると、増加傾向にあります。また、1世帯当たり人数については、減少傾向となっており、核家族化が緩やかに進んでいることがうかがえます。



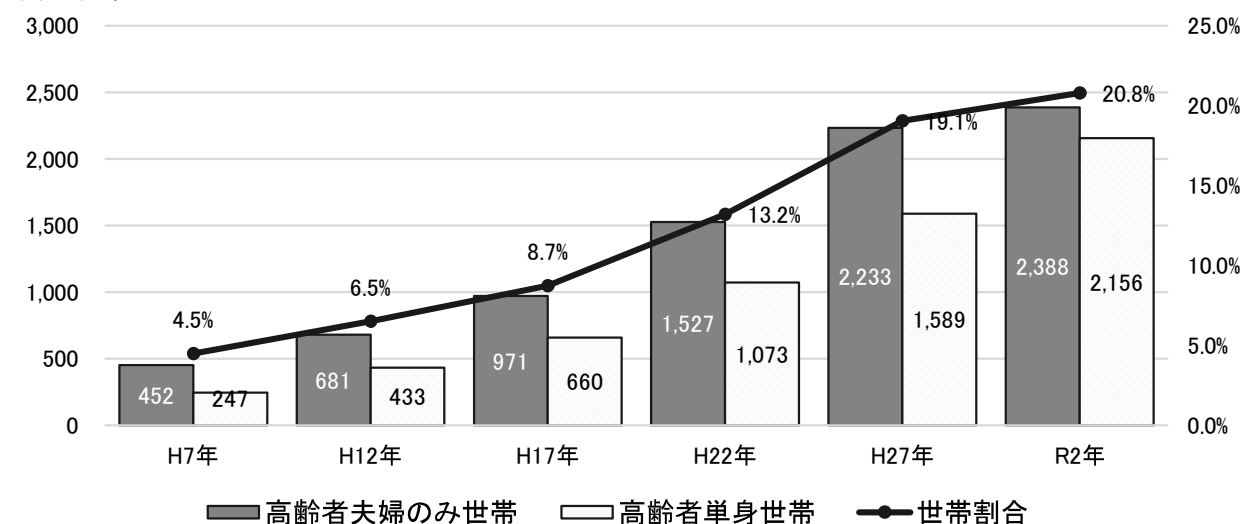
各年4月1日時点 資料：市民課（住民基本台帳）

■高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯の推移

高齢者世帯（65歳以上で構成されている世帯）は、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯ともに増加しており、令和2年には、平成27年に比べて、高齢者単身世帯も高齢者夫婦世帯も増加しています。この高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯は、全世帯の20%を占めています。

■高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯の推移

単位：世帯



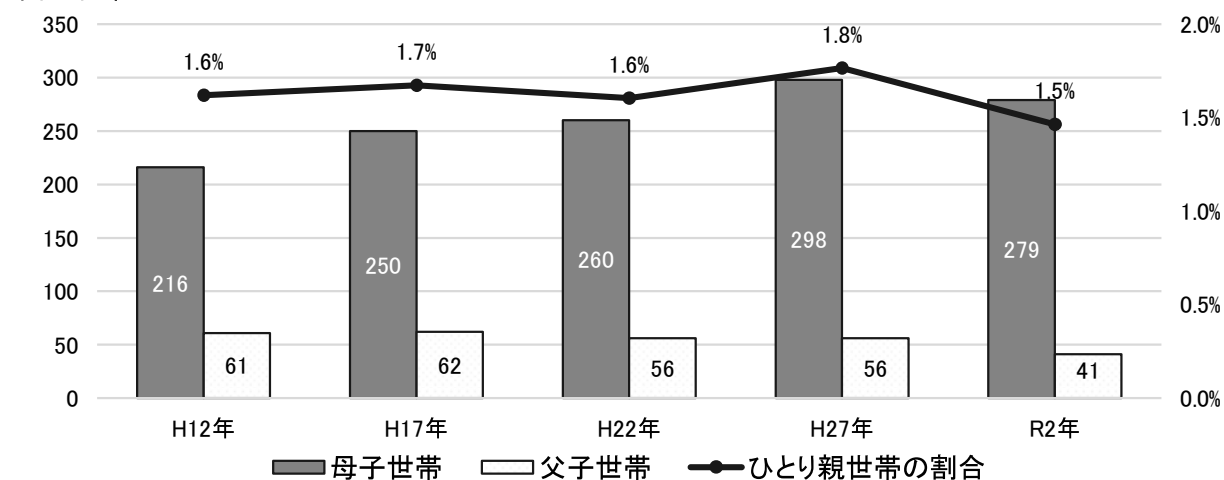
資料：国勢調査

■ひとり親世帯の推移

母子世帯は、平成12年から少しずつ増加していましたが、令和2年には減少しています。父子世帯については、横ばいの状況でしたが、令和2年には減少しています。全世帯に占めるひとり親世帯の割合は、ほぼ横ばいです。

■ひとり親世帯の推移

単位：世帯

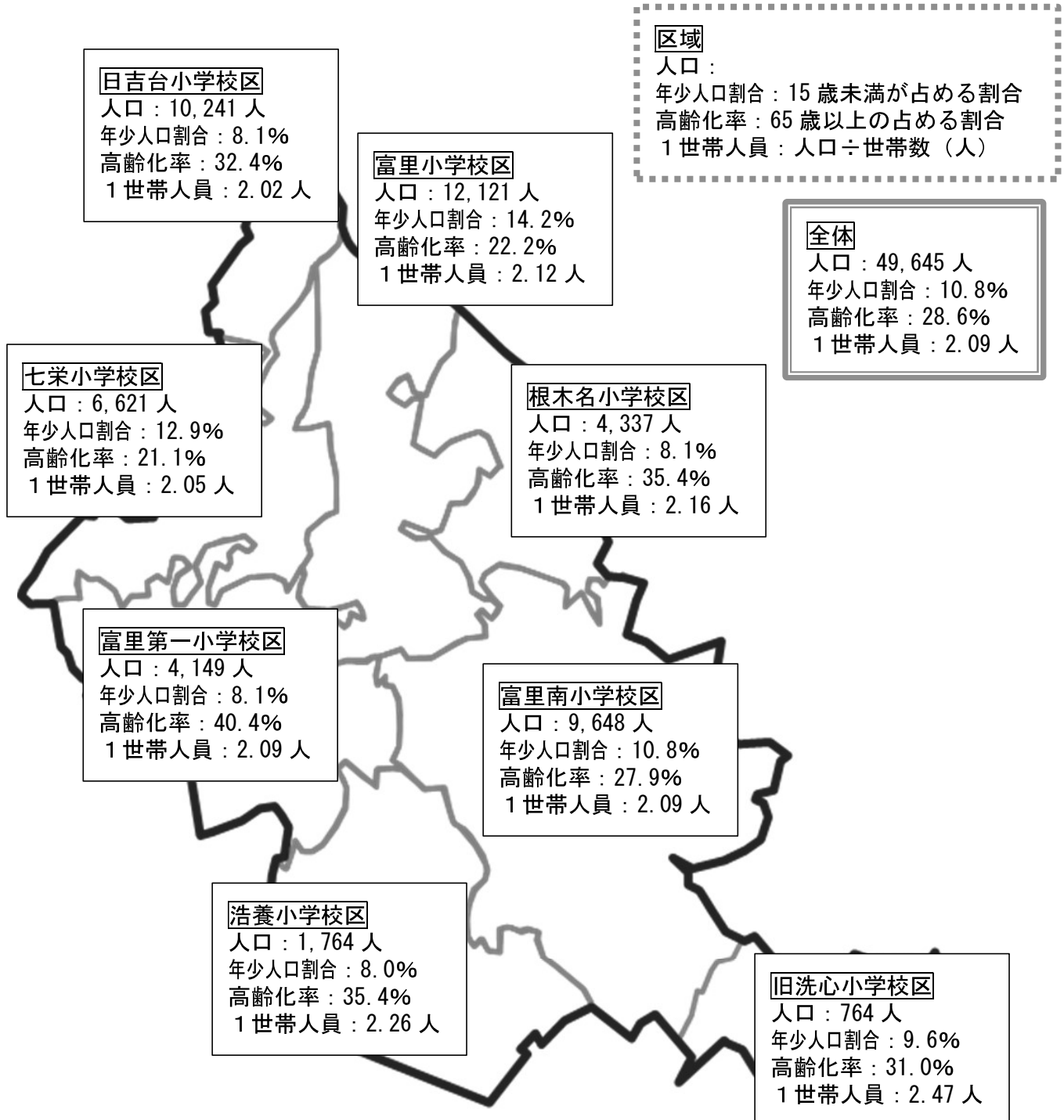


資料：国勢調査



(5) 地区別人口・世帯数

人口及び高齢化率について地域別でみると、日吉台、富里、富里南小学校区では人口が多く、一方、南部に位置する浩養小学校区では、2,000人にも満たない状況で、旧洗心小学校区では、1,000人以下です。また、日吉台、富里第一、根木名、浩養、旧洗心小学校区の高齢化率は、市全体の高齢化率 28.6%を上回っており、地域によって差が大きくなっています。

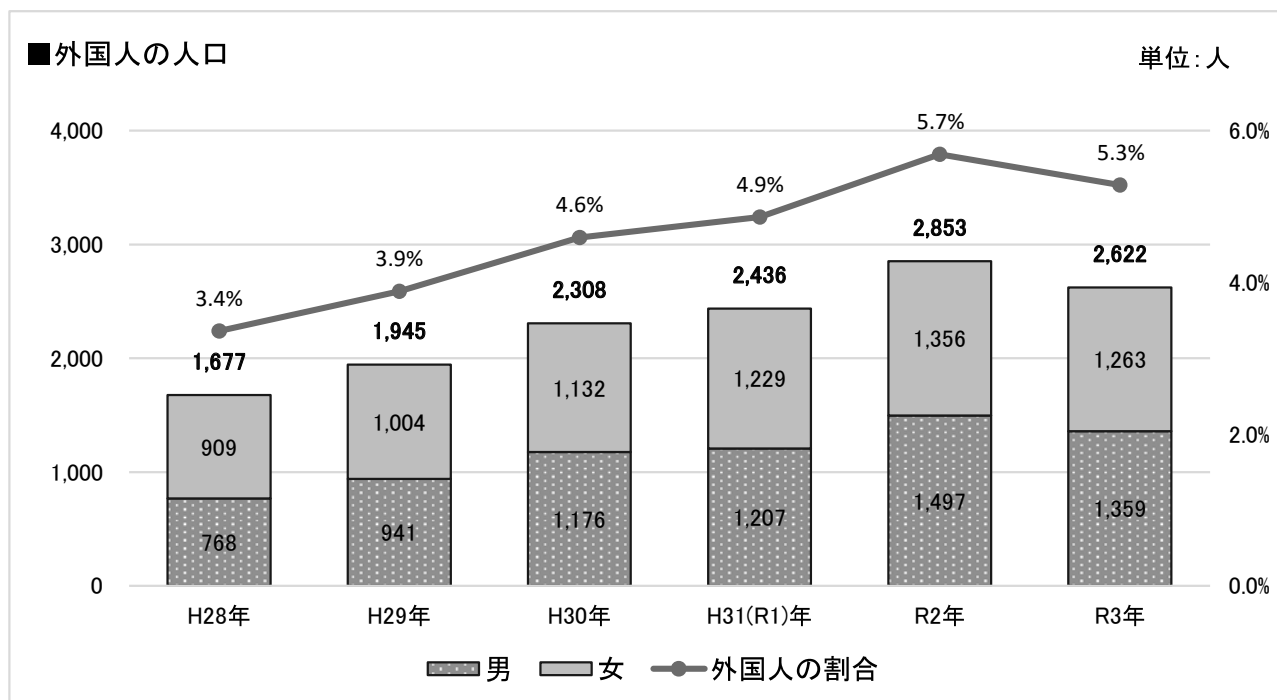


令和3年4月1日時点 資料：住民基本台帳に基づいて算出

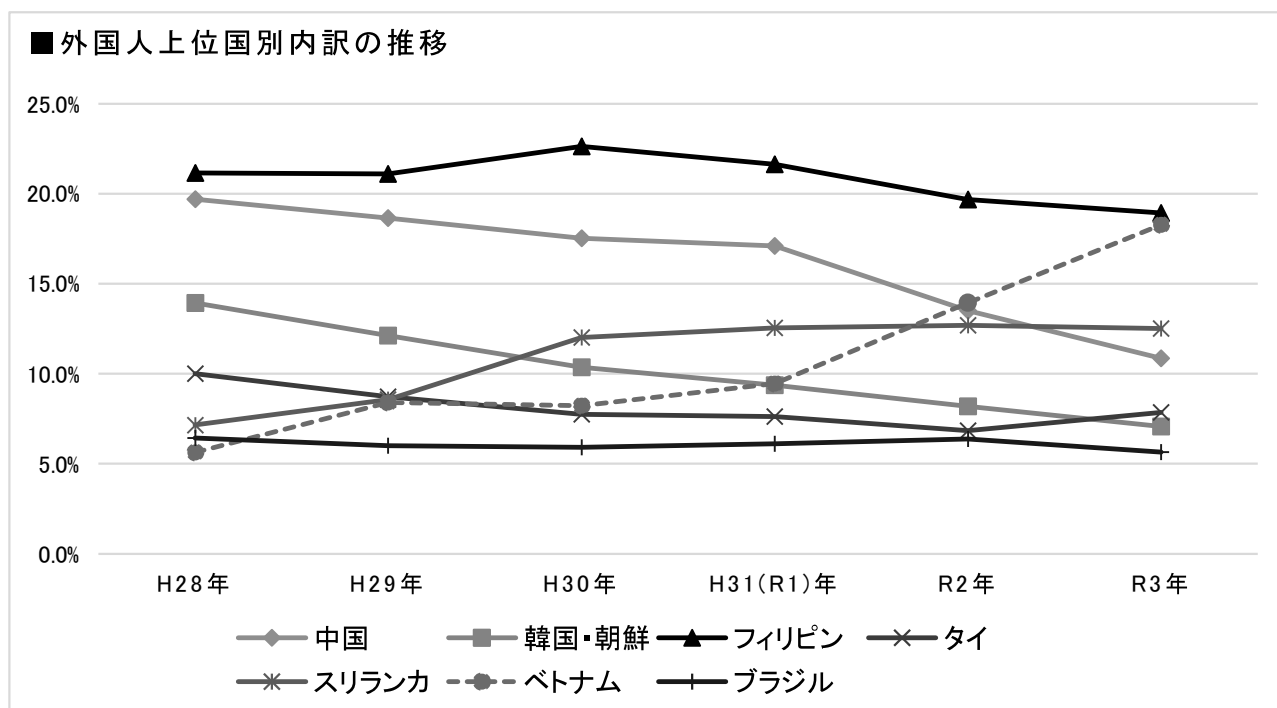


(6) 外国人の人口の推移

外国人の人口は、平成28年から増加していましたが、令和3年は減っています。国別で比較すると、ベトナムとスリランカの人口割合が増え、逆に中国と韓国の人口割合は減っています。全体的に、上位の国の人口が占める割合が減り、その他の国籍の人口が増えていることから本市における多国籍化がうかがえます。



各年4月1日時点 資料：市民課（住民基本台帳）



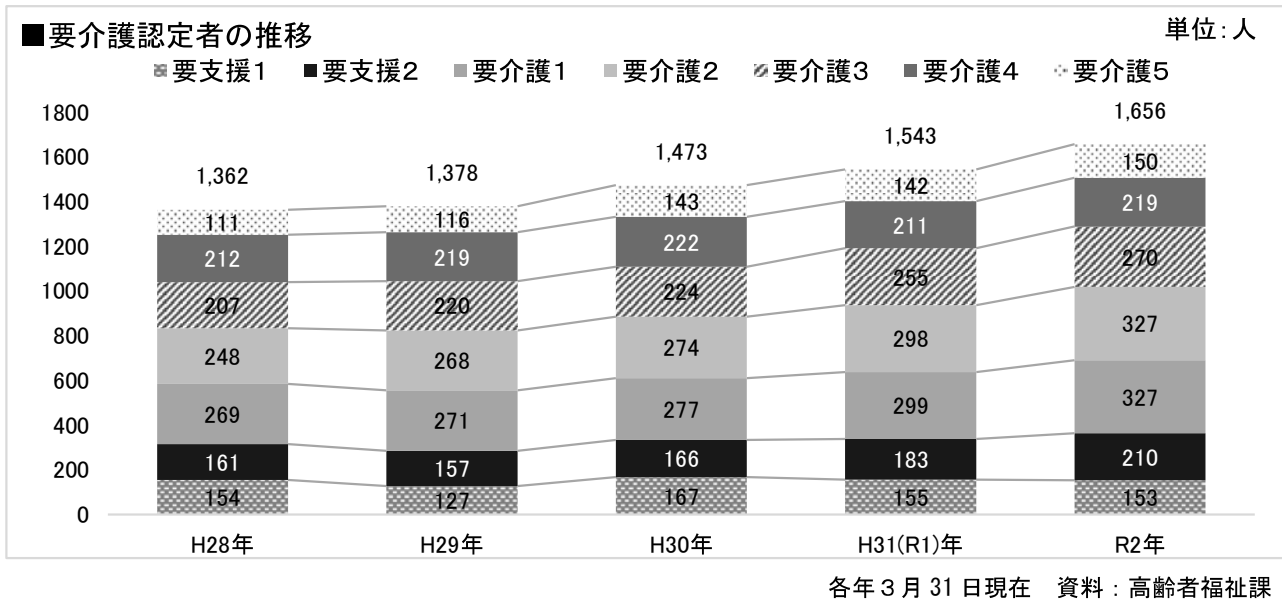
各年1月1日時点 資料：市民課（住民基本台帳）



2 福祉の状況

(1) 要支援者・要介護認定者の状況

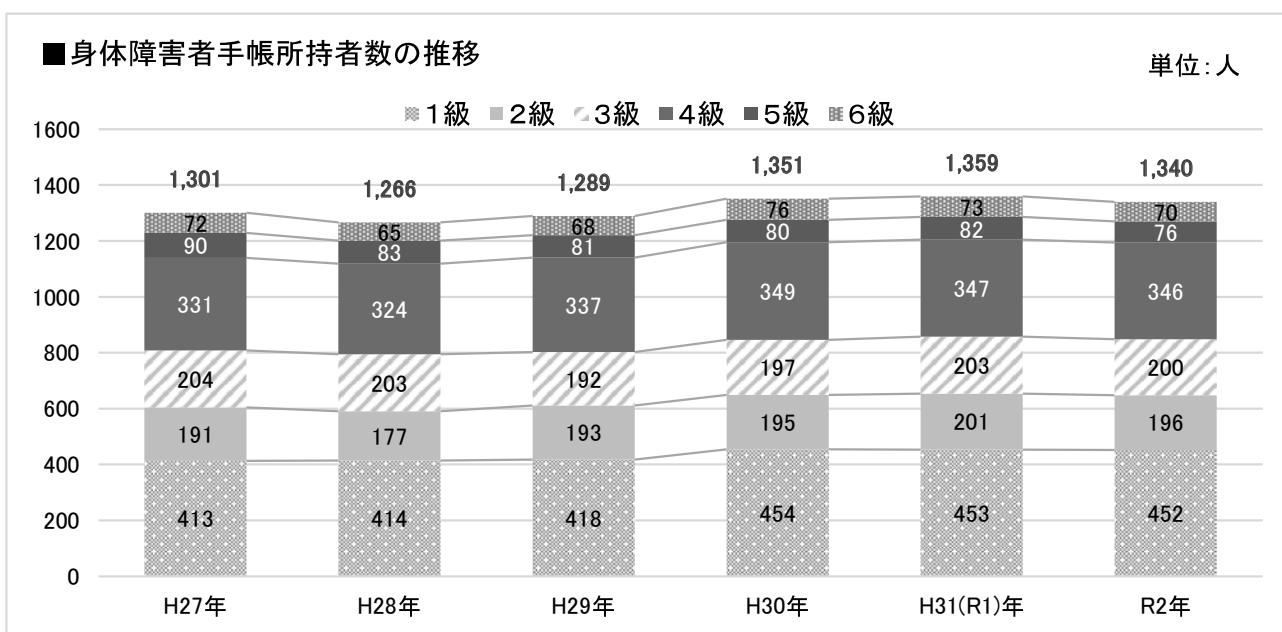
要介護・要支援認定者数は、過去5年間で約1.2倍に増加しており、令和2年度で1,656人となっています。また、多少の増減はあるものの、全ての区分が5年前から増加しています。



(2) 障害者手帳所持者の状況

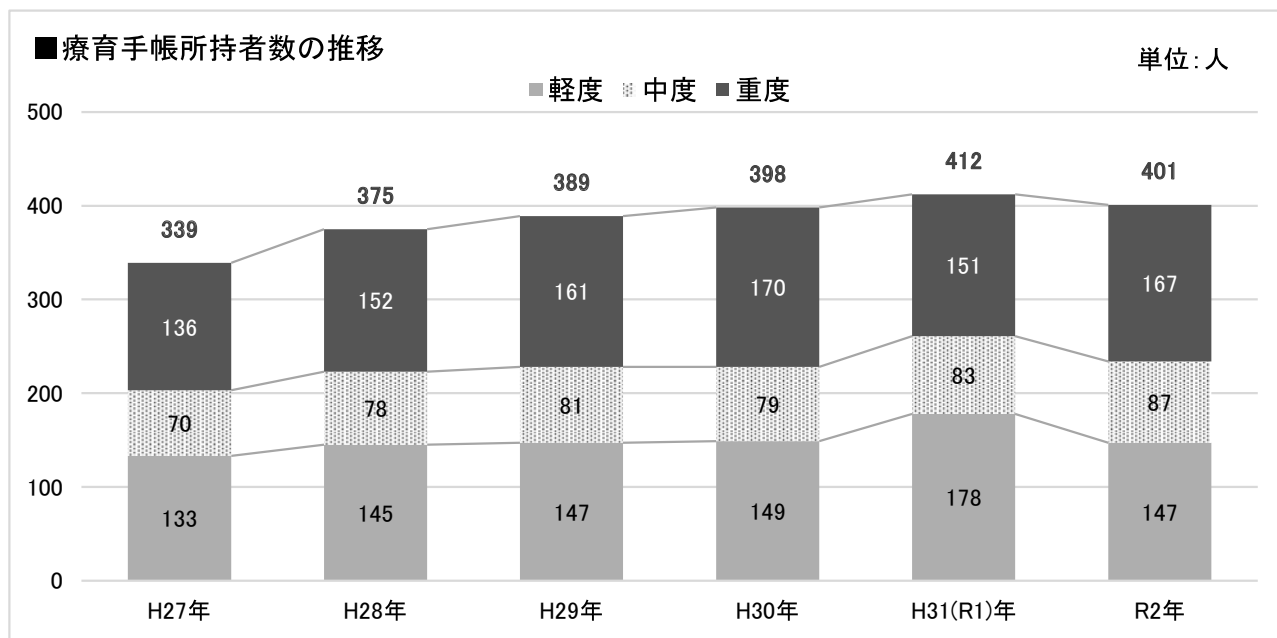
■身体障害者手帳所持者の推移

身体障害者手帳所持者数は、全体的に横ばいの状況が続いています。



■療育手帳所持者の推移

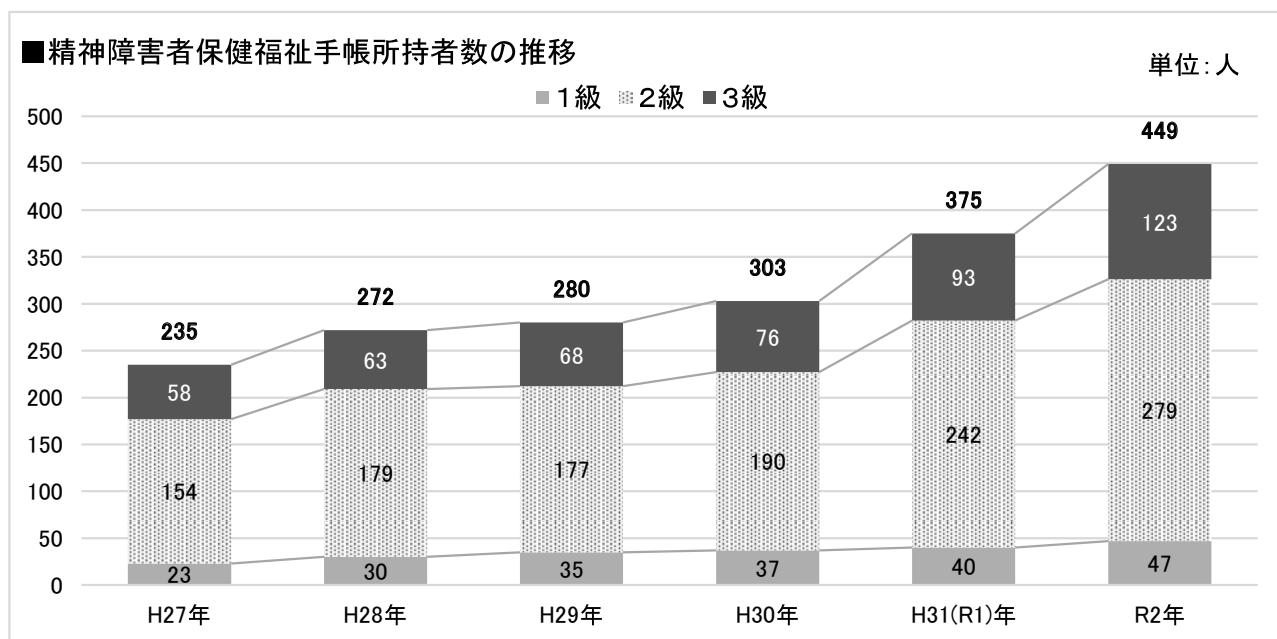
療育手帳の所持者数については、特に平成28年度に増えており、その後、横ばいの状況が続いています。



各年3月31日現在 資料：社会福祉課

■精神障害者保健福祉手帳所持者の推移

精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、全ての等級において増加しています。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の3つの手帳の所持者の中で、平成27年と令和2年を比較すると、精神障害者保健福祉手帳が伸び率が一番高くなっています。

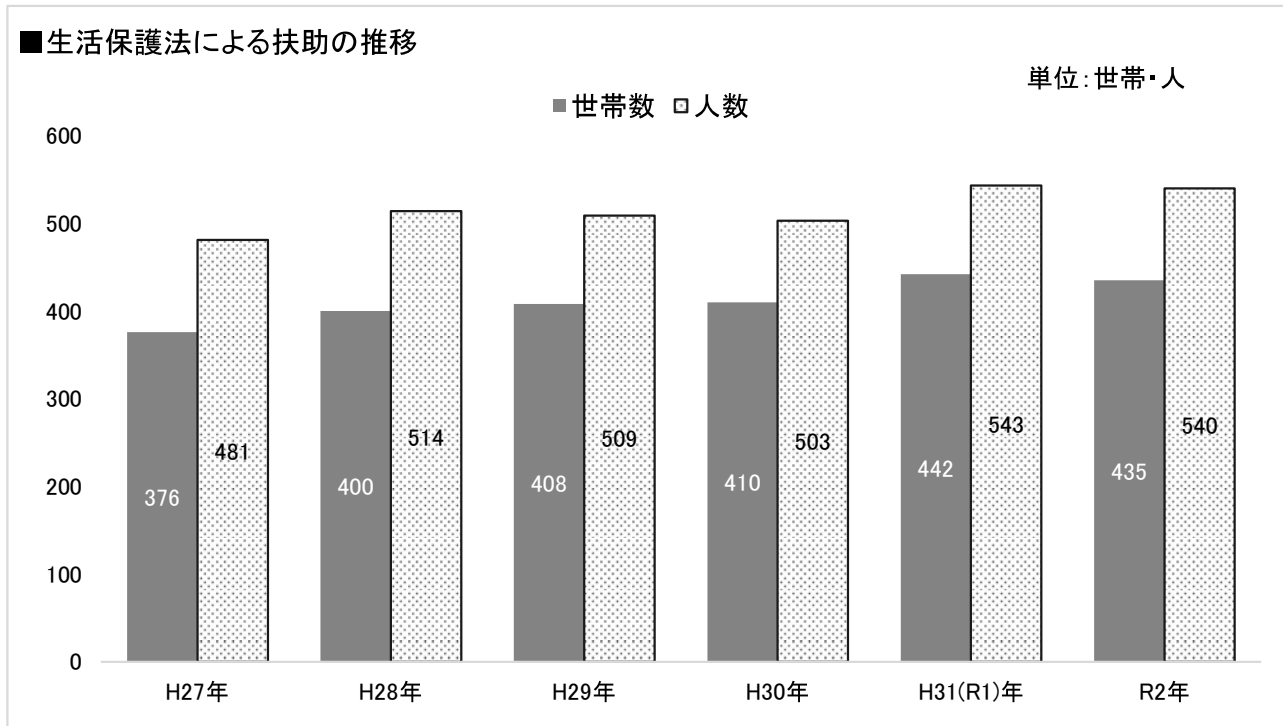


各年3月31日現在 資料：社会福祉課



(3) 生活保護の状況

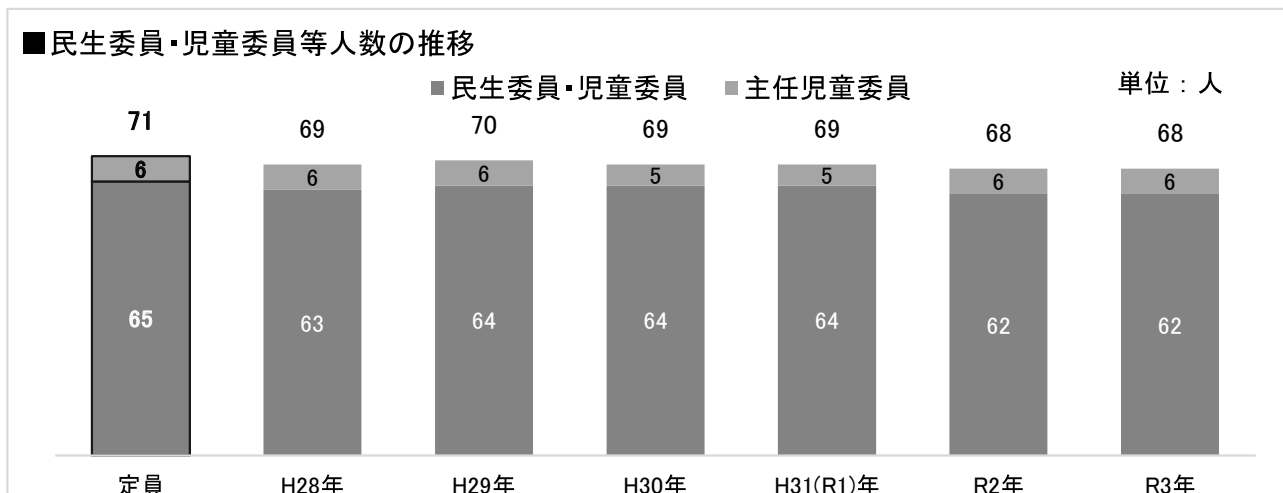
生活保護法による扶助の状況は、少しずつ増加傾向にあります。また、単身世帯の割合が高くなっています。



各年 3 月 31 日現在 資料：生活支援課

(4) 民生委員・児童委員の状況

民生委員・児童委員の人数は、定員の 71 名より少ない状態が平成 28 年度から続いています。



各年 4 月 1 日時点 資料：社会福祉課



Ⅱ 各種アンケート調査

1 市民アンケート調査

市民アンケート調査は、市民の地域での生活や福祉活動に関する状況、地域活動に対する関心の度合いなどを把握し、本計画に反映することを目的として実施しました。

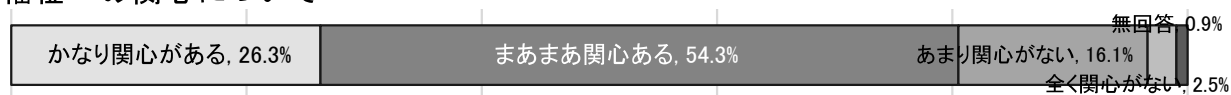
調査概要

調査地域：富里市全域
調査対象：無作為抽出による18歳以上の市民1,500人
調査期間：令和2年12月1日～令和3年1月12日
調査方法：郵送による配布・回収
回収結果：回収数529人、回収率35.3%

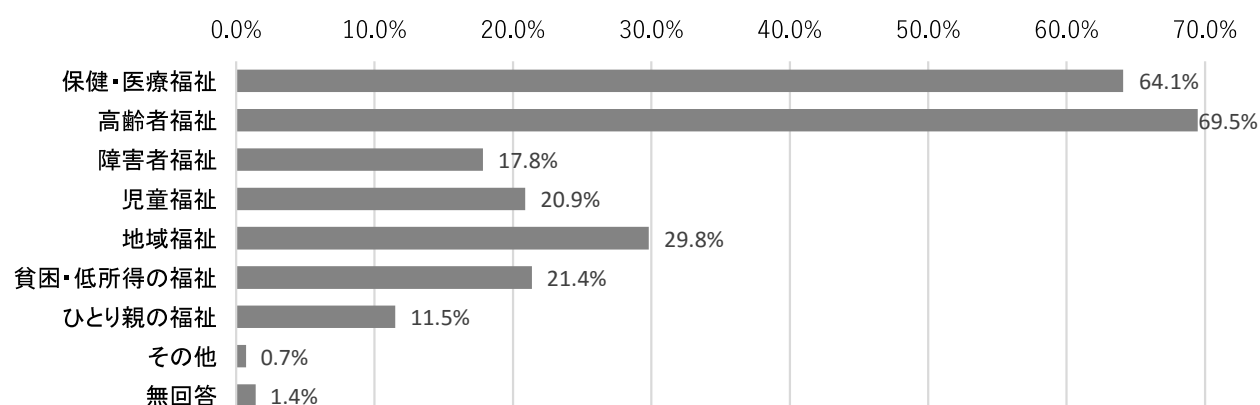
(1) 福祉に対する関心について

福祉に対する関心についてみると、「まあまあ関心がある」が54.3%、で最も多く、「かなり関心がある」が26.3%で、合わせると8割以上になります。関心がある福祉分野としては、「高齢者福祉」が69.5%、「保健・医療福祉」が64.1%と上位を占めていて、次いで「地域福祉」が29.8%となっています。福祉に関心がない理由としては、「わからない」が最も多く、次に「関係がない」となっています。

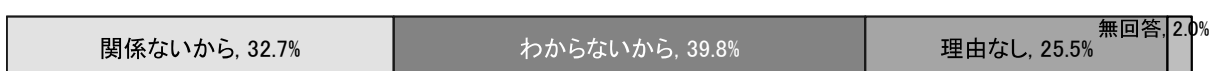
■ 福祉への関心について



■ 関心のある福祉分野(複数回答可)



■ 福祉に関心のない理由

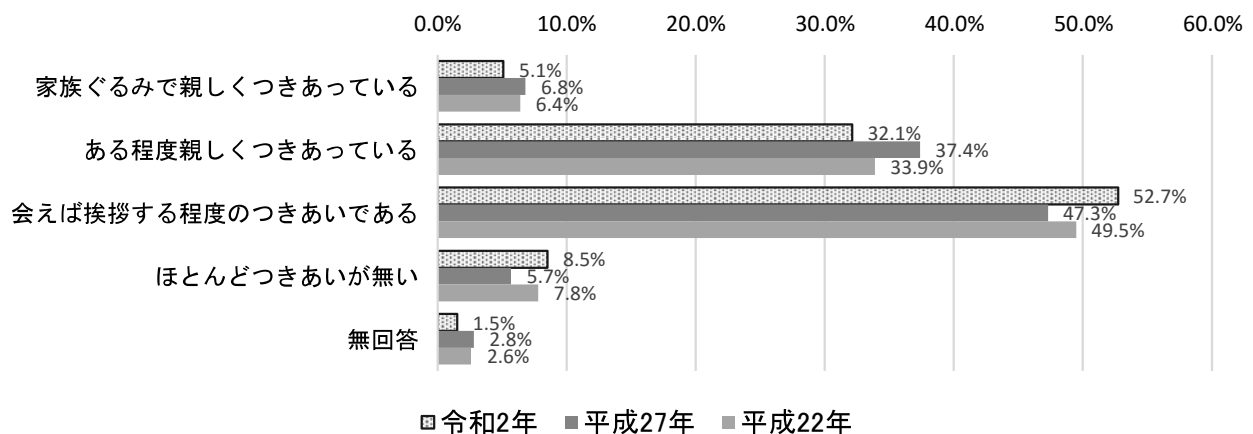


(2) 近所付き合いの程度について

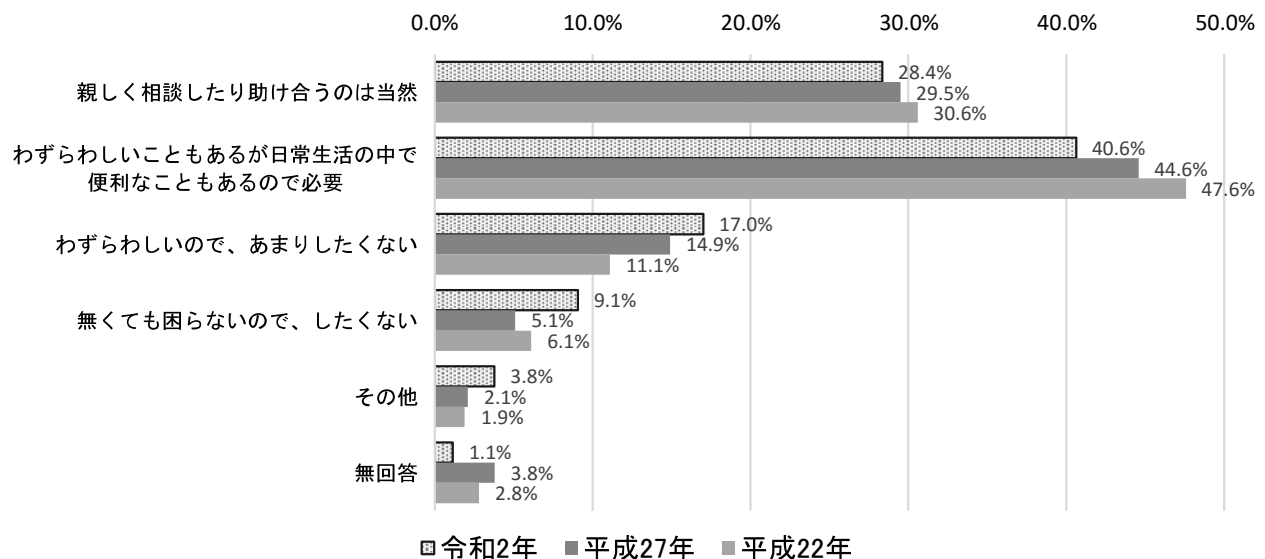
近所付き合いの程度についてみると、「会えば挨拶する程度のつきあいである」が52.7%と最も高く、次いで「ある程度親しくつきあっている」が32.1%。「ほとんどつきあいが無い」が8.5%となっています。「ある程度親しくつきあっている」が5.3ポイント減少し、「会えば挨拶する程度のつきあいである」が5.4ポイント増加しています。

また、近所付き合いの考え方で見ると、「わずらわしいこともあるが、日常生活の中で便利なが多いので必要である」が40.6%と最も高く、次いで「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が28.4%と、7割弱が近所付き合いの必要性を感じていますが、平成27年の調査と比較すると、「わずらわしいこともあるが、日常生活の中で便利なが多いので必要である」が4.0ポイント減少し、「わずらわしいので、あまりしたくない」が2.1ポイント、「無くても困らないので、したくない」が4.0ポイント増加しています。

■ 近所付き合いの程度



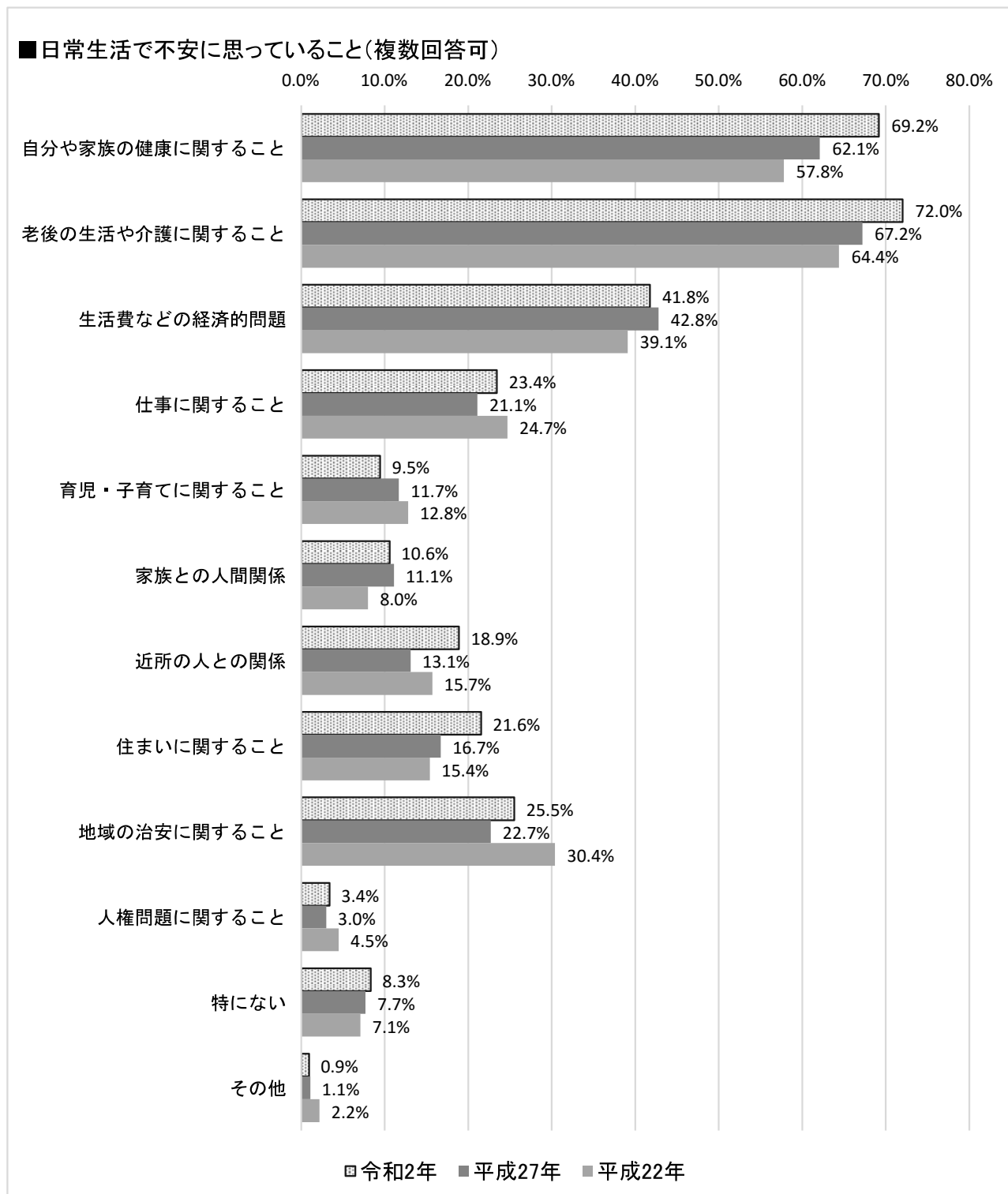
■ 近所付き合いの考え方



(3) 日常生活で不安に思っていることについて

日常生活の中で日頃不安に思っていることについてみると、「老後の生活や介護に関すること」が72.0%と最も高く、次いで「自分や家族の健康に関すること」が69.2%、「生活費など経済的問題」が41.8%となっています。

平成27年と比較すると、「近所の人との関係」が5.8ポイント増加しています。

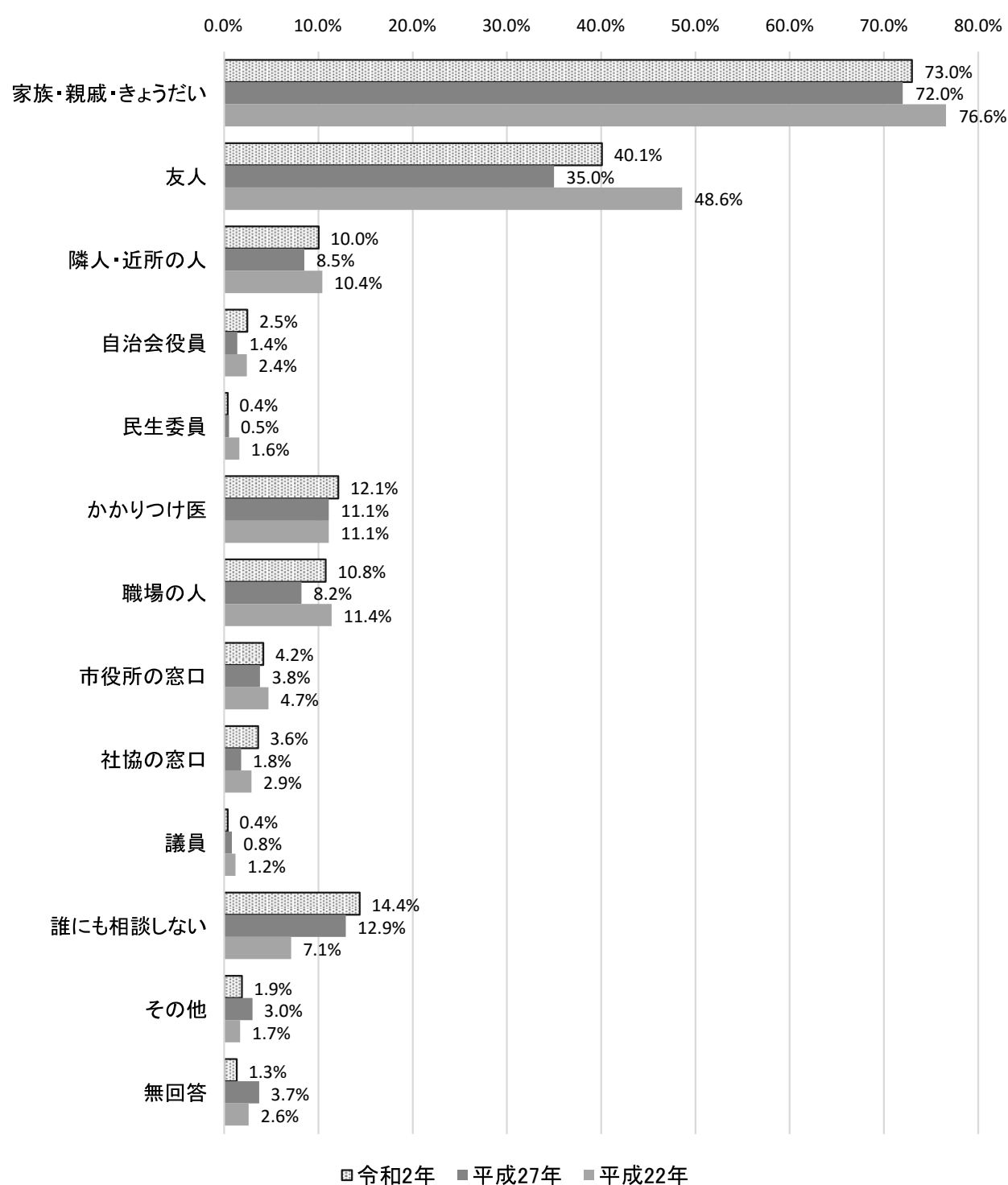


(4) 不安や悩みの相談先について

不安や悩みの相談先についてみると、「家族・親戚、きょうだい」が73.0%で最も高く、次いで「友人」が40.1%、「誰にも相談しない」が14.4%となっています。

平成27年の調査と比較すると、「友人」が5.1ポイント増加しています。

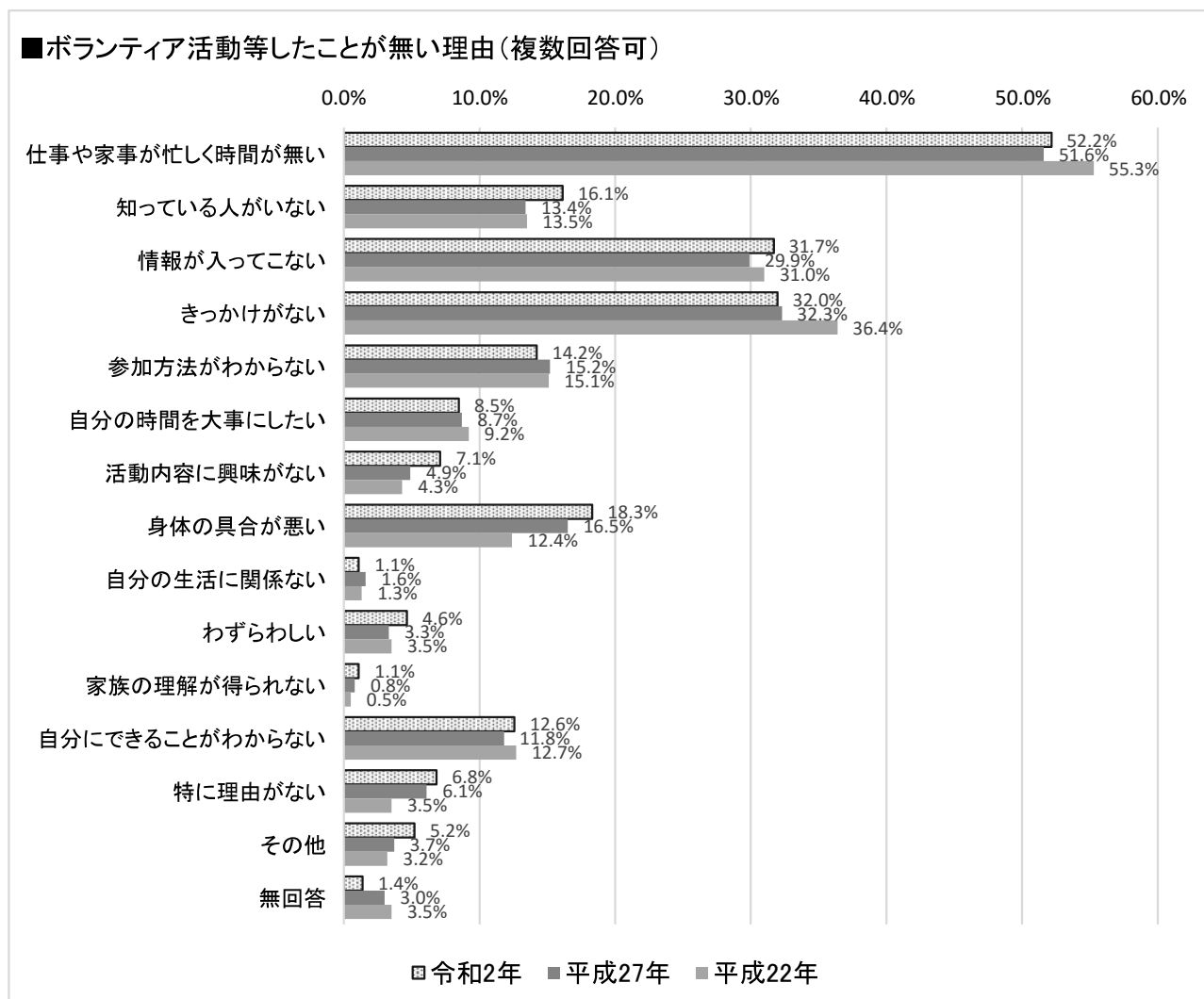
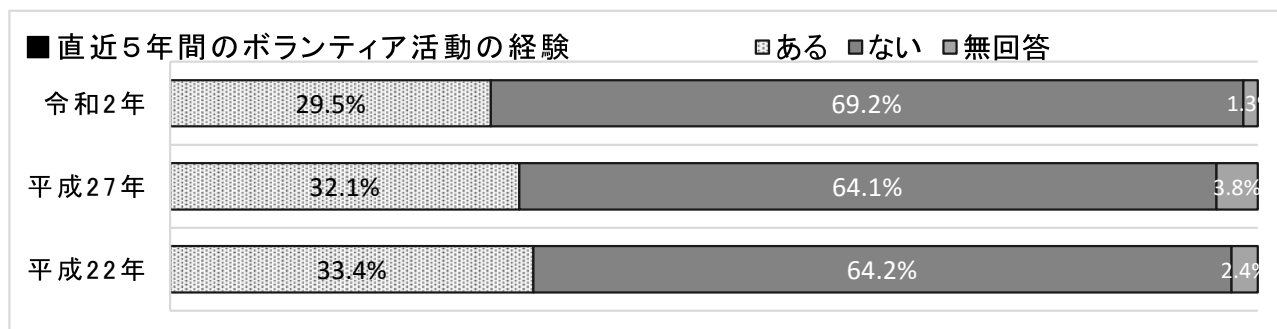
■不安や悩みの相談先(複数回答可)



（５）地域活動やボランティア活動について

直近5年間の地域活動やボランティア活動についてみると、「ない」が69.3%で「ある」の29.3%を上回っています。平成27年の調査と比較して、「ある」が2.6ポイント減少し、「ない」が5.1ポイント増加しています。

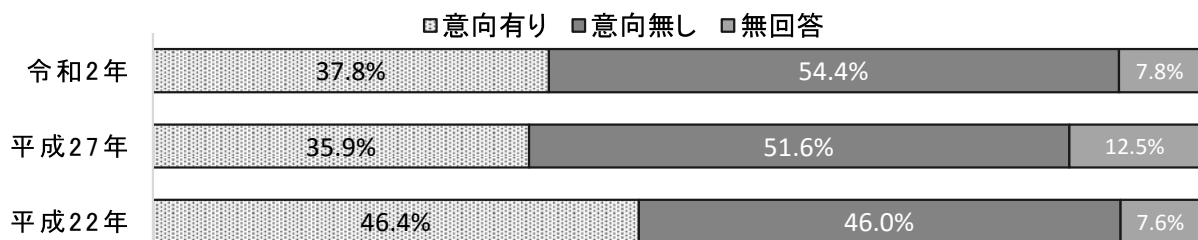
また、活動したことがない理由についてみると、「仕事や家事などで忙しく時間がない」が52.2%と最も高く、次いで「きっかけがない」が32.0%、「情報が入ってこない」で31.7%となっています。



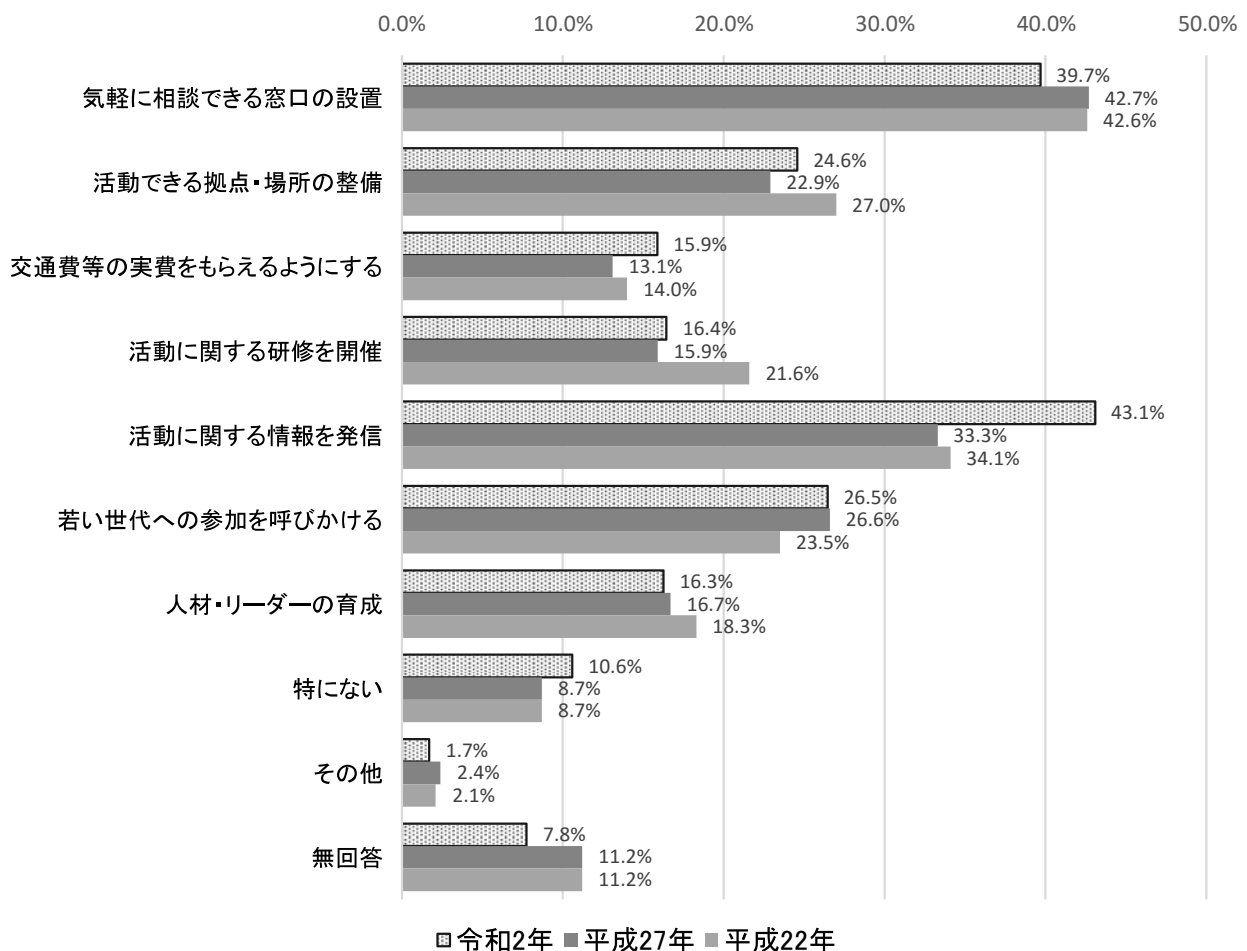
今後のボランティア活動の意向についてみると、「意向がない」が54.4%で「意向がある」の37.8%を上回っています。平成27年の調査と比較すると、「意向がある」が1.9ポイント増加しているものの、「意向がない」も2.8ポイント増加しています。平成22年の調査と比較すると、「意向がない」が8.4ポイント増加し、「意向がある」が8.6ポイント減少しています。

また、地域活動やボランティア活動を広げていくために必要なことについてみると、「活動に関する情報を積極的に発信する」が43.1%と最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口を設置する」が39.7%、「若い世代への参加を呼びかける」が26.5%となっています。

■ 今後のボランティア活動の意向



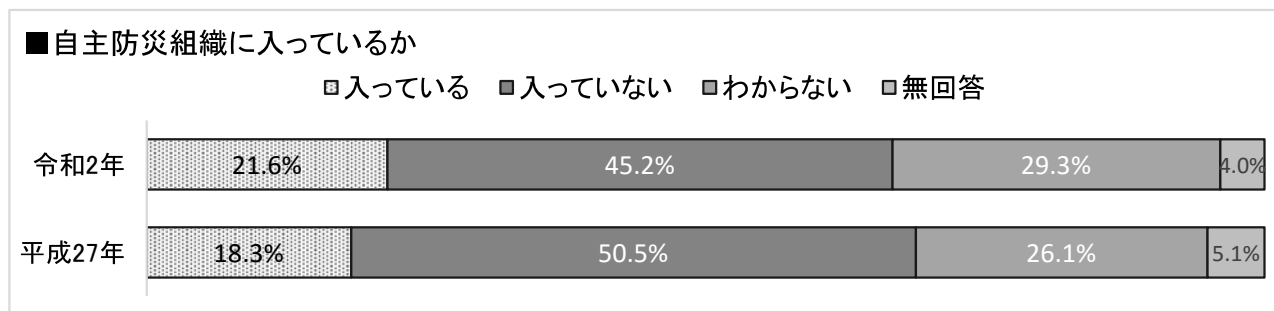
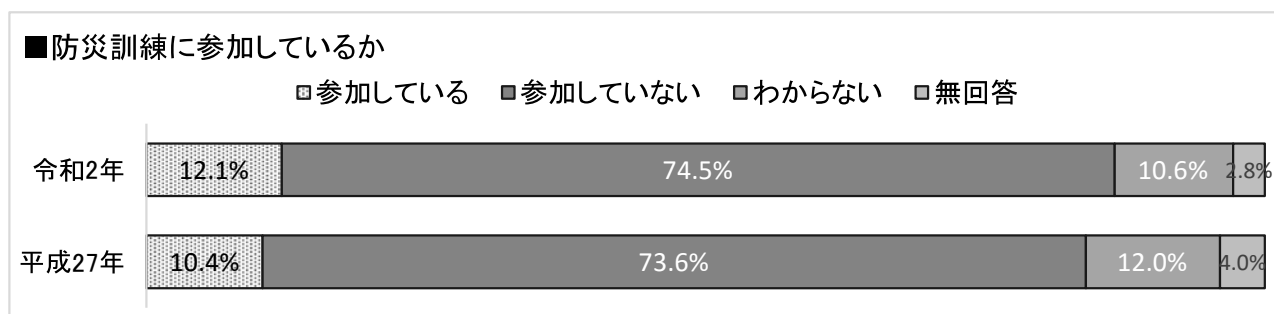
■ ボランティア活動等を広げるために必要なこと(複数回答可)



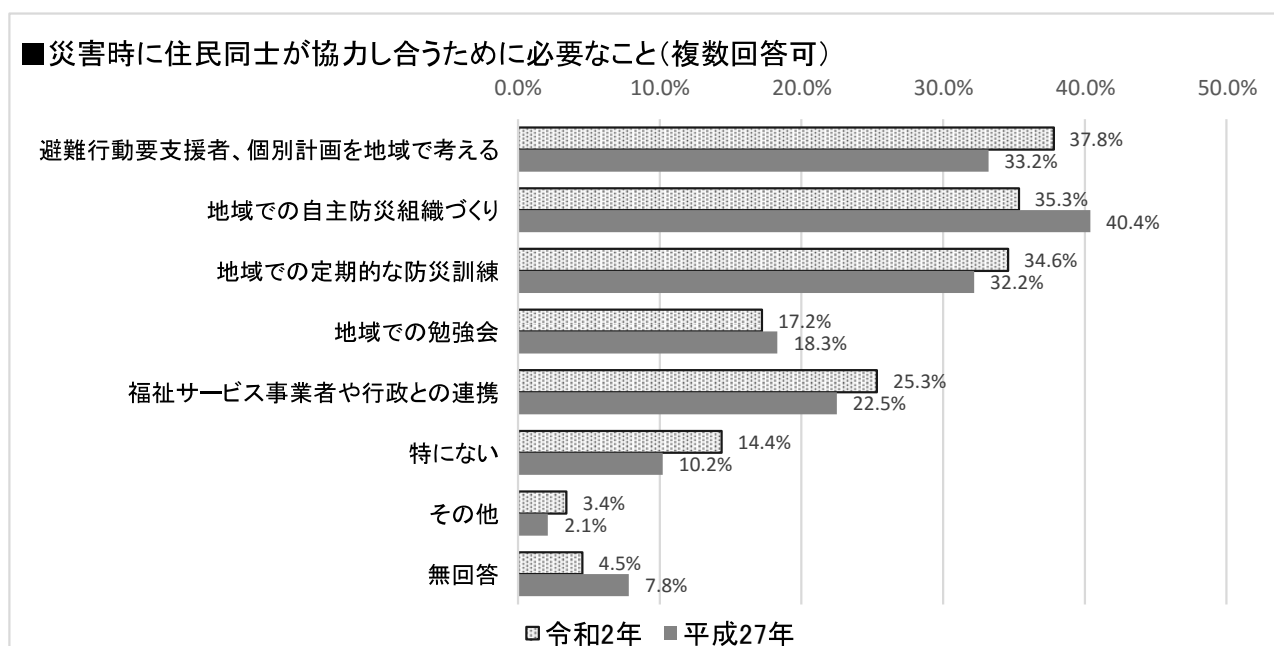
（6）地域での防災の取り組みについて

日頃から地域の防災訓練へ参加しているかについてみると、「参加していない」が74.5%で「参加している」の12.1%を上回っています。

また、回答者の世帯が地域の自主防災組織に入っているかについては、「入っていない」が45.2%で「入っている」の21.6%を上回っています。



地震や火災等の災害時に住民同士が協力しあえるために必要なことについてみると、「避難行動要支援者それぞれの支援計画を地域のみinnで考える」が37.8%で最も高く、次いで「地域での自主防災組織づくり」が35.3%、「地域での定期的な防災訓練」が34.6%となっています。

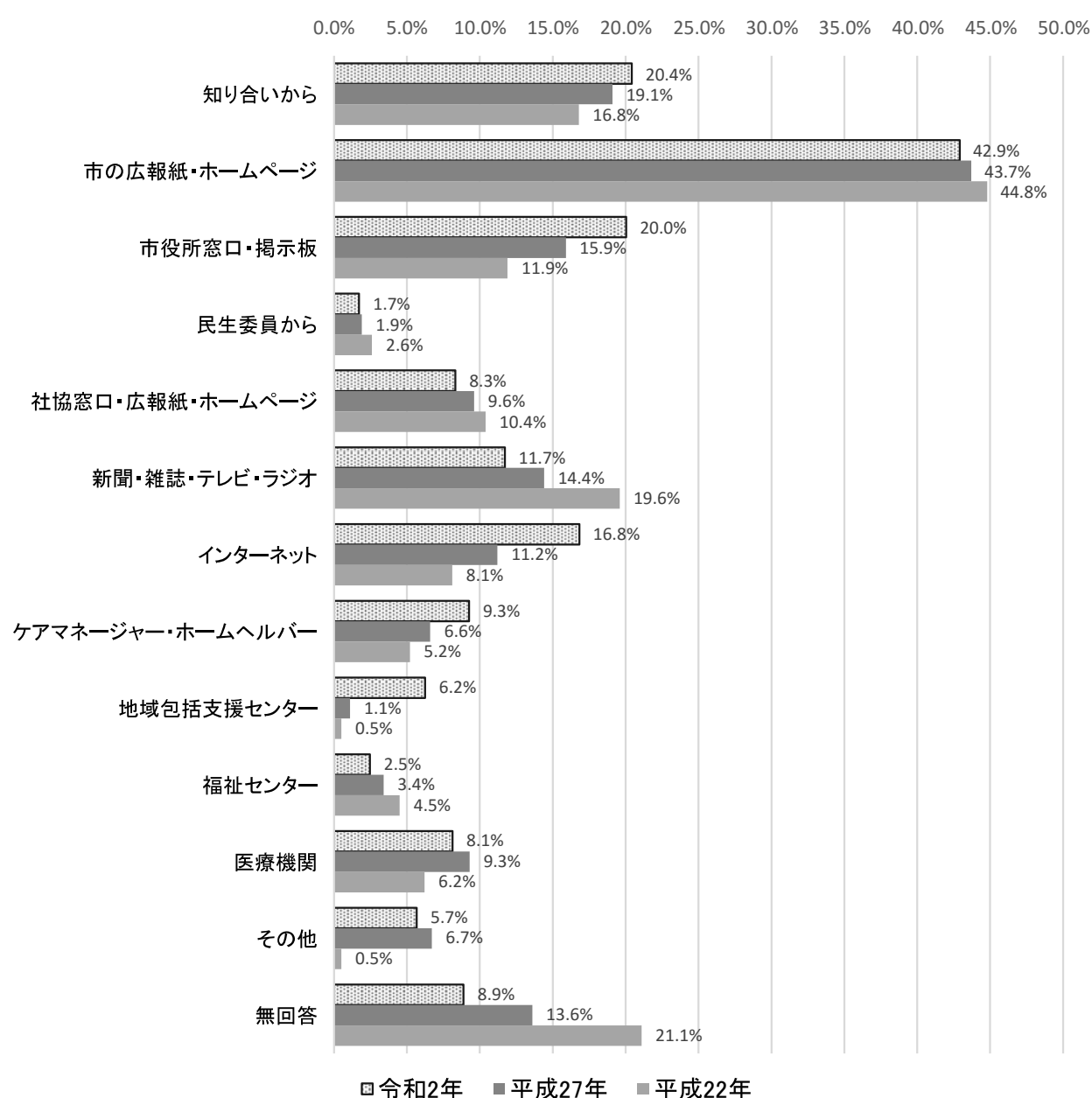


(7) 福祉サービスに関する情報について

福祉サービスに関する情報の入手先についてみると、「市の広報紙・ホームページ」が42.9%と最も高く、次いで「知り合いを通して」が20.4%、「市役所の窓口・掲示板」が20.0%となっています。

平成27年と比較すると、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が2.7ポイント減少し、「インターネット」が5.6ポイント増加して逆転しています。また、平成22年と比較すると、「市役所の窓口・掲示板」が8.1ポイント増加し、「インターネット」が8.7ポイント増加し、「地域包括支援センター」が5.7ポイント増加しています。

■福祉サービスに関する情報について(複数回答可)

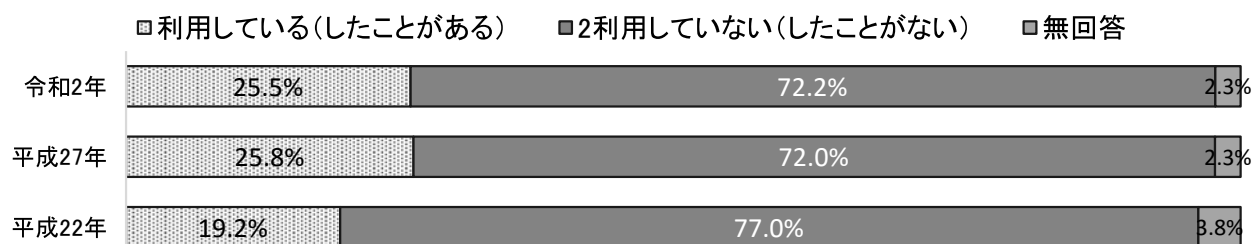


（８）福祉サービスについて

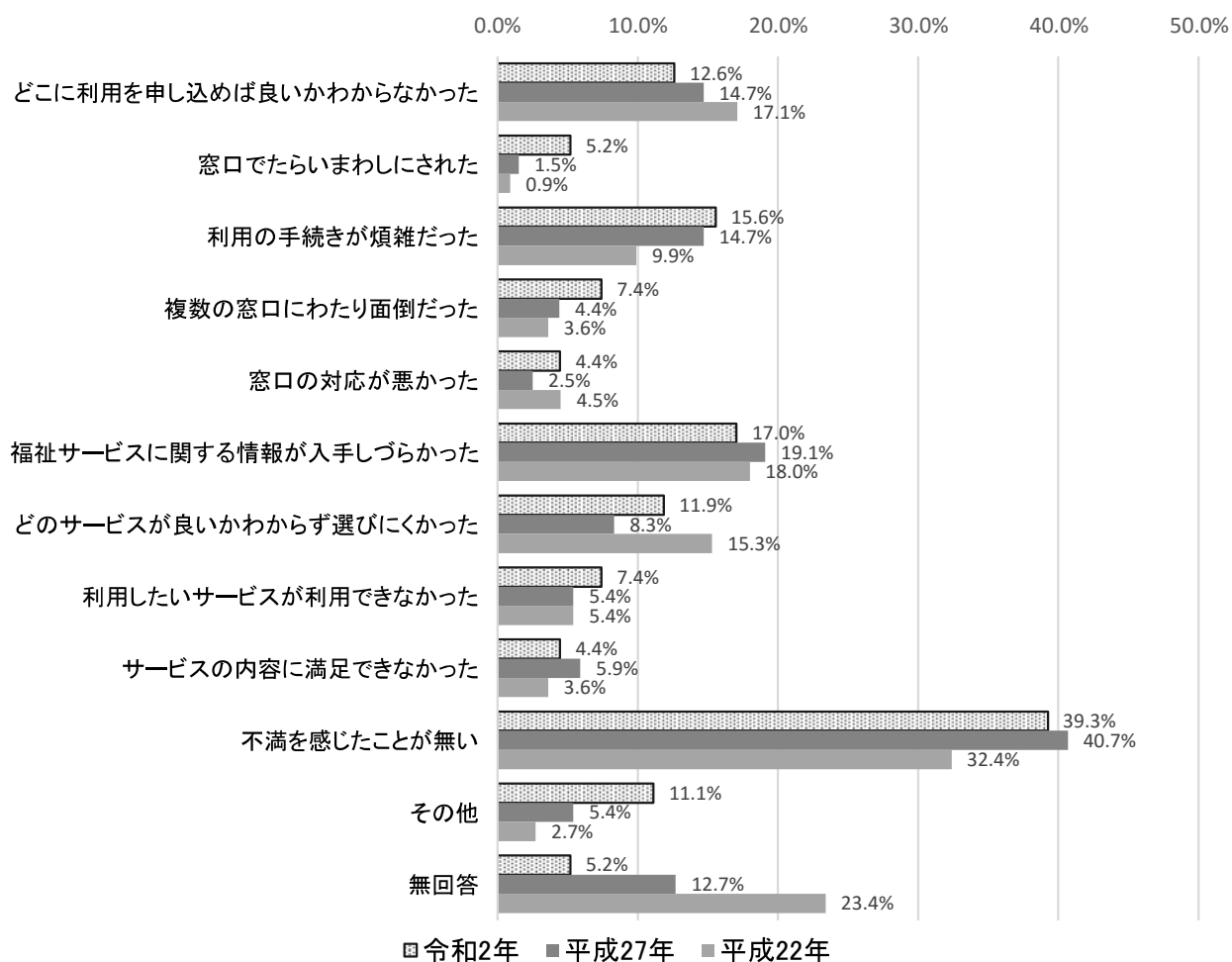
福祉サービスの利用の有無についてみると、「利用していない（したことがない）」が72.2%で、「利用している（したことがある）」の25.5%を上回っています。

また、福祉サービスの利用の際に不都合や不満を感じたかについてみると、「不都合や不満を感じたことはない」が39.3%で最も高く、次いで「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が17.0%、「利用の手続きが煩雑だった」が15.6%となっています。

■福祉サービス利用の有無



■福祉サービス利用の際に、どんな点で不都合や不満を感じたか(複数回答可)

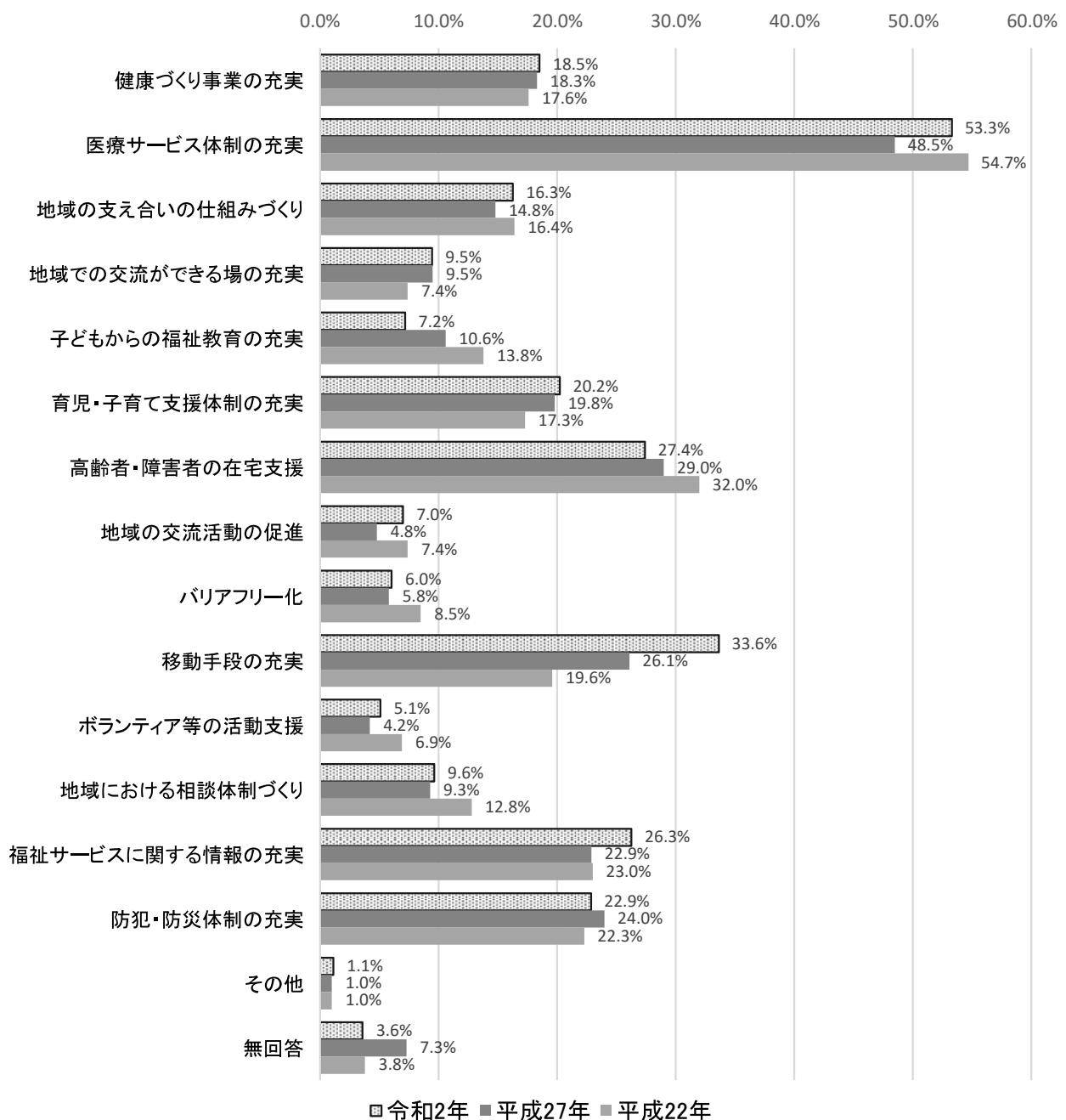


（９）今後の福祉施策について

地域福祉を推進するために富里市が取り組んでいくべき施策をみると、「医療サービス体制の充実」が53.3%で最も高く、次いで「移動手段の充実」が33.6%、「高齢者や障害者の在宅支援生活」が27.4%となっています。

平成27年調査と比較すると、「移動手段の充実」が7.5ポイント、「医療サービス体制の充実」が4.8ポイント増加しています。特に「移動手段の充実」は、平成22年調査と比較すると14.0ポイントも増加しています。

■地域福祉を推進するために市が取り組むべき施策（複数回答可）



2 団体等アンケート調査

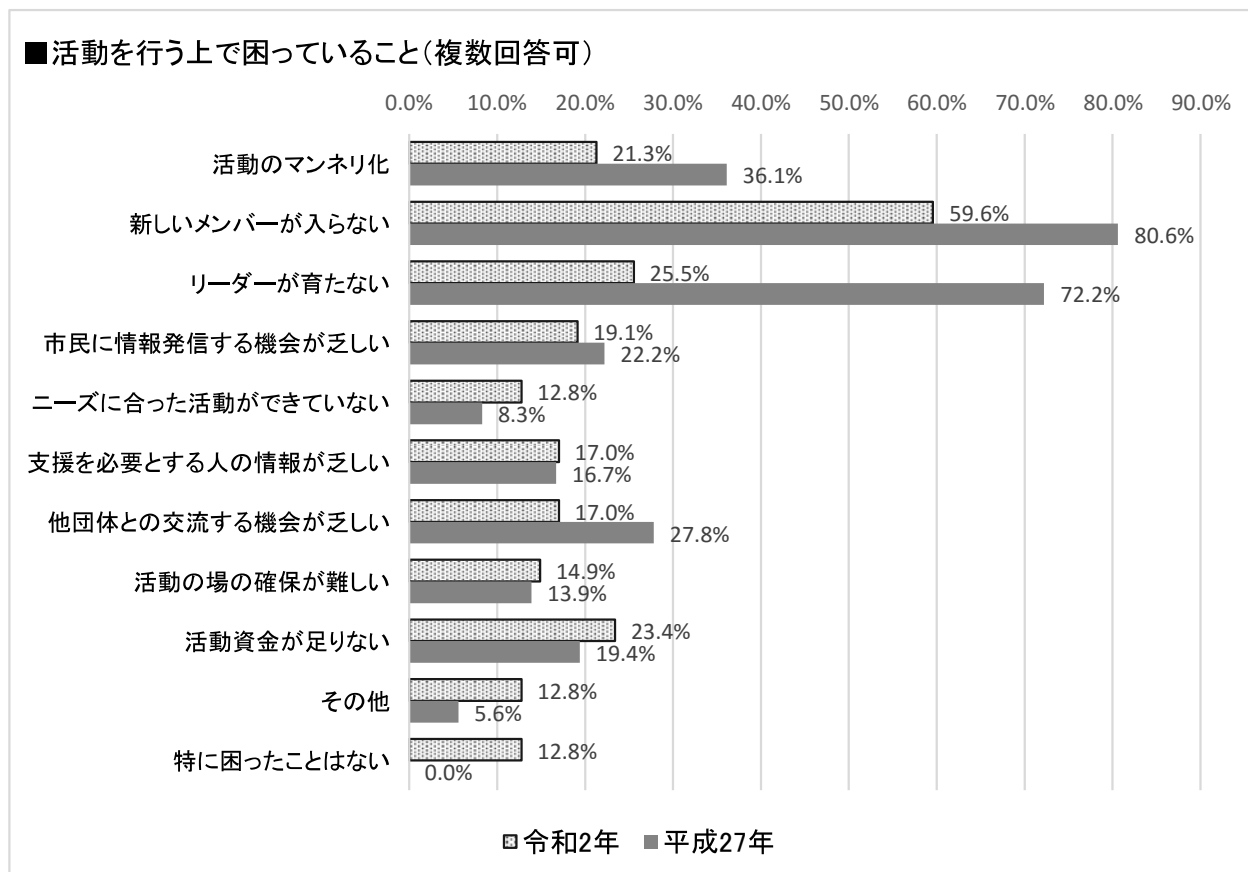
団体等アンケート調査は、市内で組織されている団体等の活動に関する現状や課題、今後の方向性、福祉施策についての意見を把握し、計画の基礎資料とするために行いました。

調査概要

調査対象：富里市内で活動する団体 90 団体
（ボランティアセンター、サポートセンター等登録団体）
自立支援事業所 13 事業所
調査期間：令和2年12月2日～令和3年1月29日
調査方法：郵送による配布・回収
回答結果：回答数 47 団体、6 事業所

（１）活動を行う上で困っていること

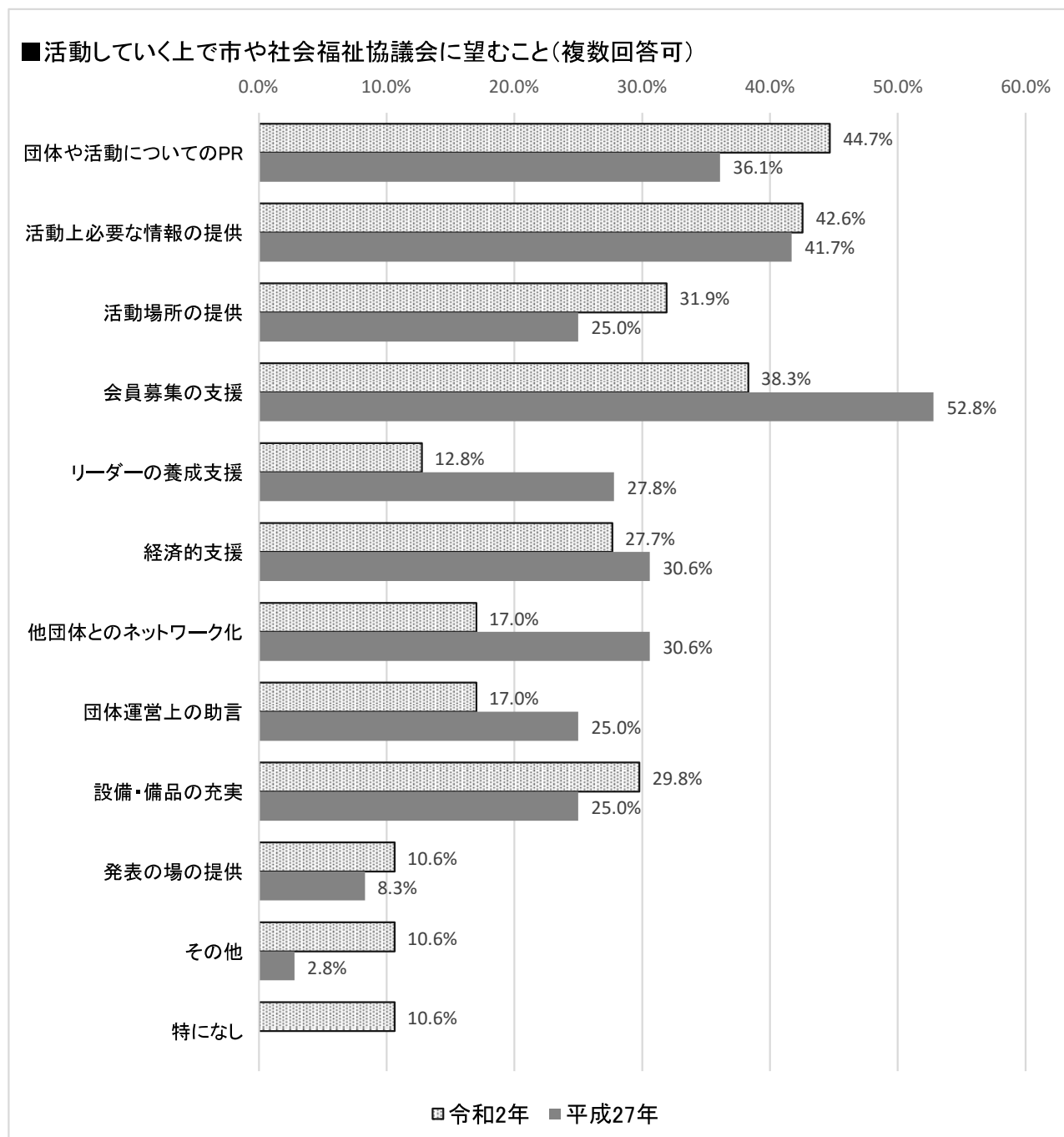
活動を行う上で困っていることをみると、最も多いのが「新しいメンバーが入らない」で 59.6%、次いで「リーダーが育たない」が 25.5%、「活動資金が足りない」が 23.43%となっています。「特に困ったことがない」が 12.8 ポイント増加しています。



（２）活動していく上で市や社会福祉協議会に望むこと

活動していく上で市や社会福祉協議会に望むことについてみると、「団体や活動についてのPR」が44.7%、次いで「活動上必要な情報の提供」が42.6%、「会員募集の支援」が38.3%、「活動場所の提供」が31.9%となっています。

平成27年と比較すると、「会員募集の支援」が14.5ポイント、「リーダーの養成支援」が15.0ポイント減少し、「団体や活動についてのPR」が8.6ポイント増加しています。



3 民生委員アンケート調査及び意見聴取

民生委員アンケート調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、座談会に代わり行ったものです。また、結果について感染対策を行いながら、一部の民生委員に意見聴取を行いました。

調査概要

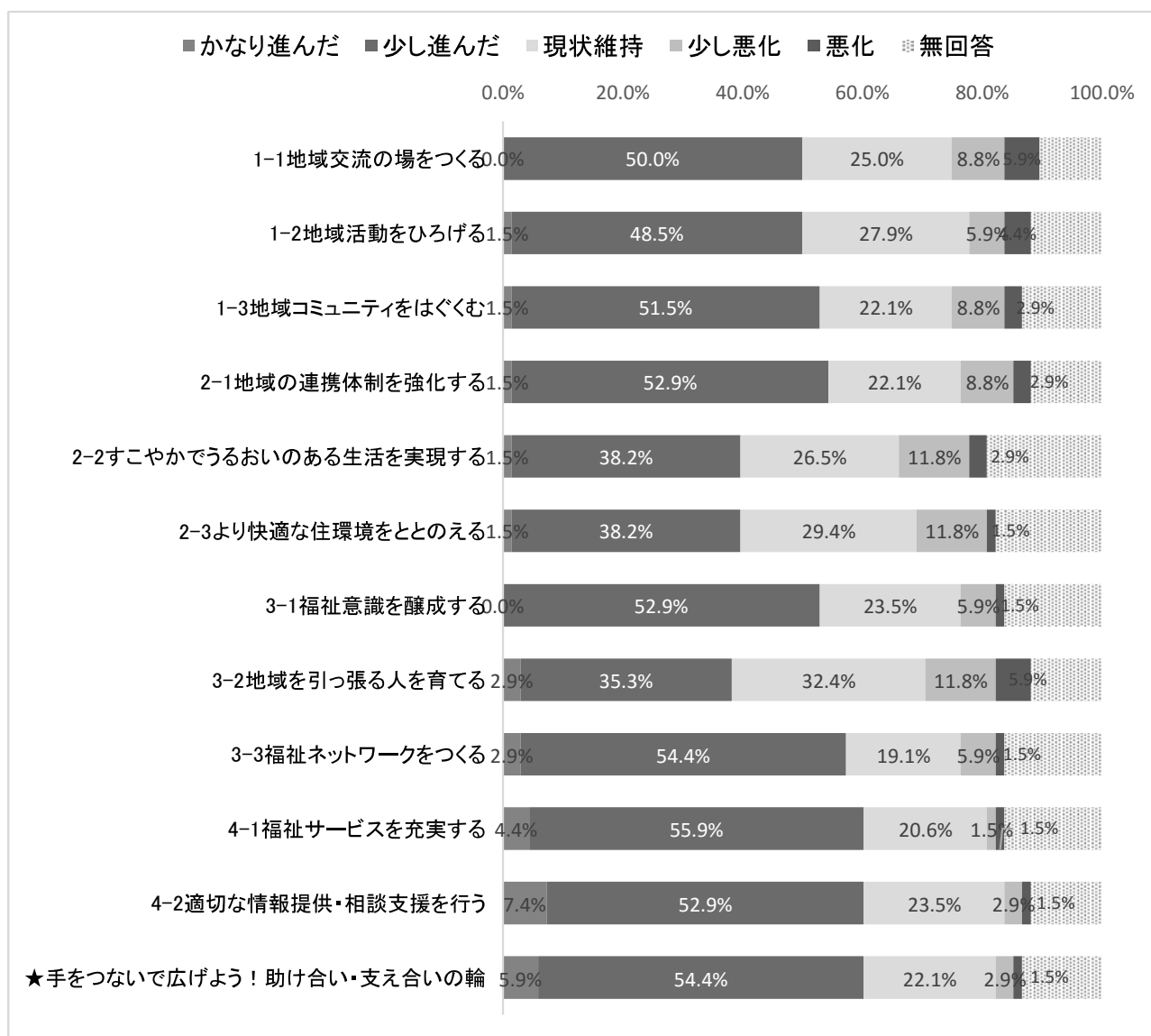
調査対象：民生委員・児童委員 全員 68 人（主任児童委員を含む。）

調査期間：令和2年10月14日～令和2年12月9日

調査方法：富里市民生委員児童委員協議会定例会時に配布・回収

回答結果：回答数 66 人

（１）現行の地域福祉計画目標の進捗について



全体の目標である「手をつないで広げよう！助け合い・支え合いの輪」は、「かなり進んだ」が5.9%、「進んだ」が54.4%、「現状維持」22.1%、「少し悪化」が2.9%、「悪化」が1.5%となっています。

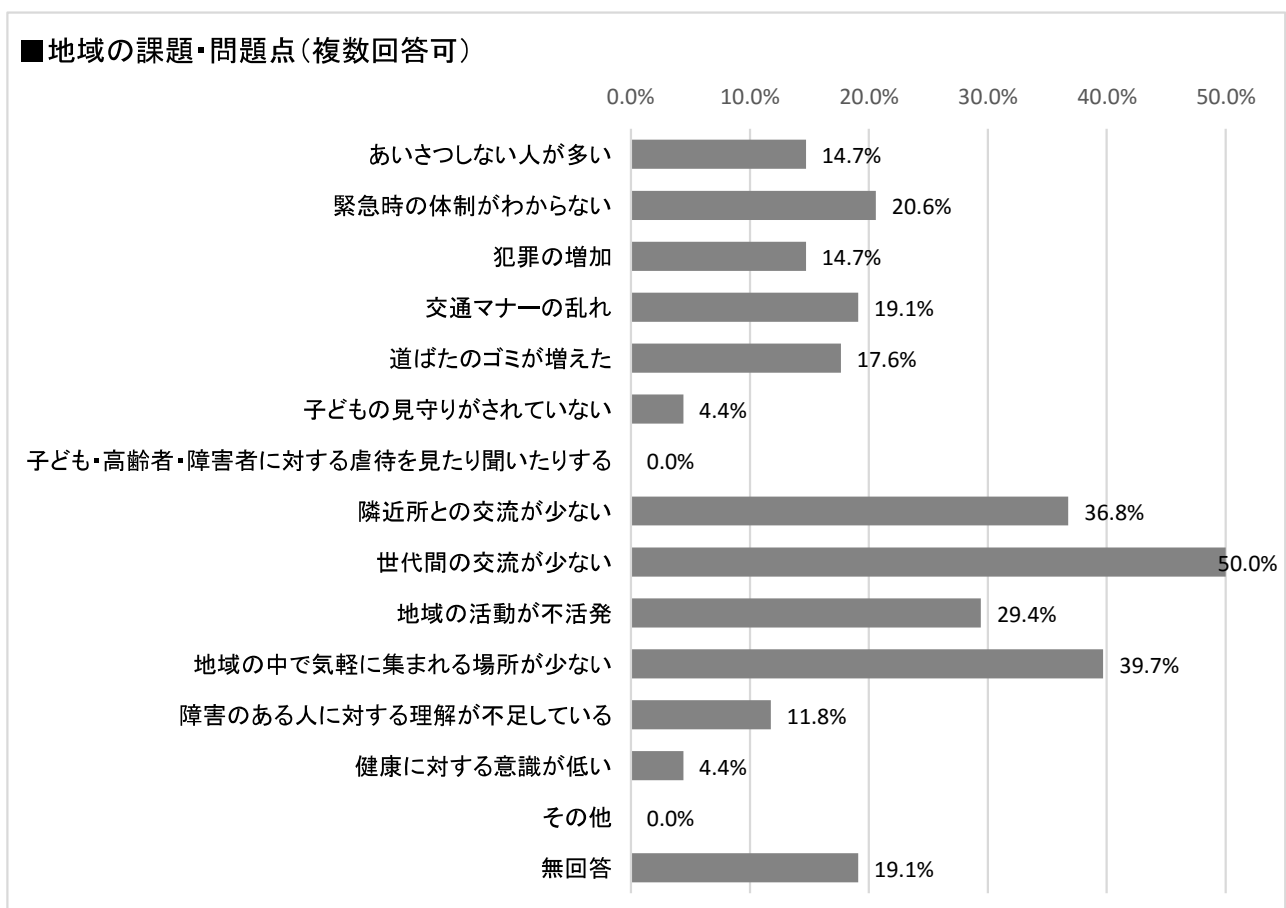
個別の目標で、「かなり進んだ」「進んだ」の割合が高いのが、「4-1 福祉サービスを充実する」と「4-2 適切な情報提供・相談支援を行う」で60.3%です。次いで「2-1 地域の連携体制を強化する」で54.4%、「1-3 地域コミュニティをはぐくむ」で53.0%、「3-1 福祉意識を醸成する」で52.9%となっています。

逆に「少し悪化」「悪化」の割合が高いのが、「3-2 地域で引っ張る人を育てる」で17.7%、次いで「2-2 すこやかでうるおいのある生活を実現する」で14.7%、「2-3 より快適な住環境をととのえる」で13.3%となっています。

（２）地域の課題、問題点について

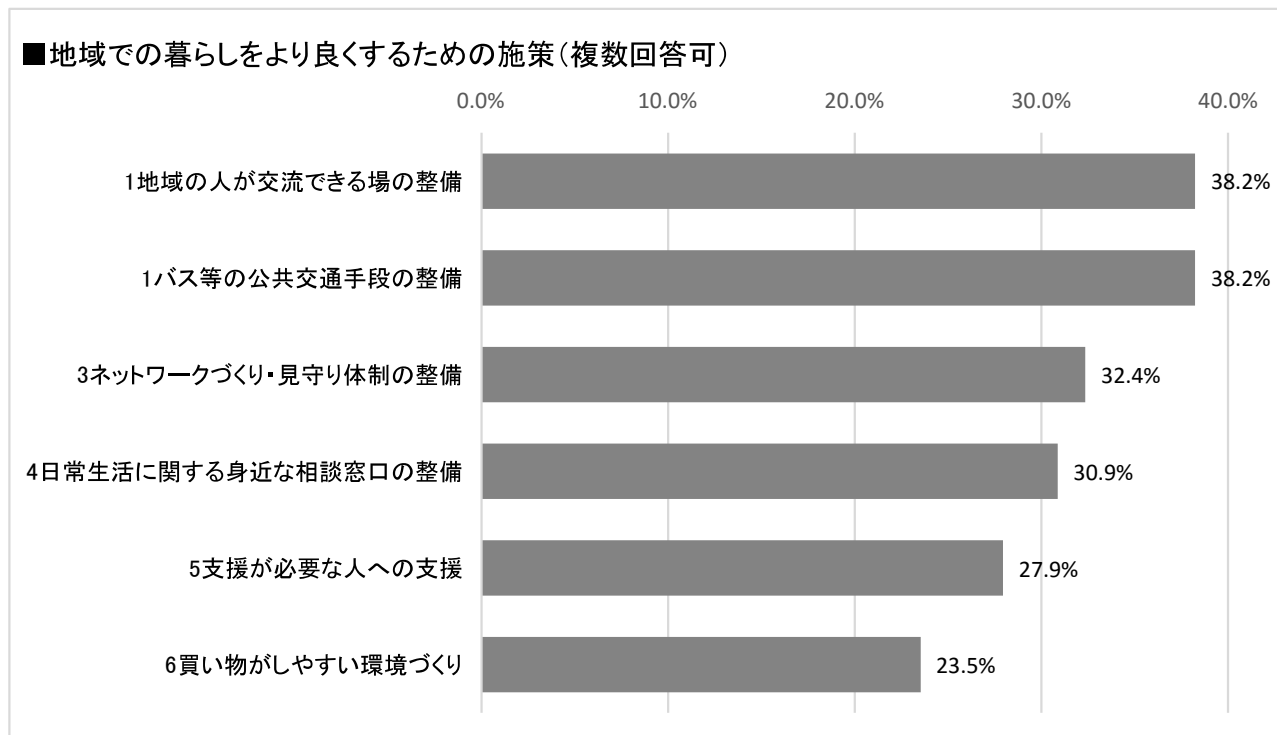
地域の課題として、問題点・不足しているものとして、「世代間の交流が少ない」が50.0%と最も高く、次いで「地域の中で気軽に集まれる場所が少ない」が39.7%、「隣近所との交流が少ない」が36.8%となっています。

掲げた項目のうち、「子どもや高齢者、障害者に対する虐待を見たり聞いたりする」ということについては、0%となっています。

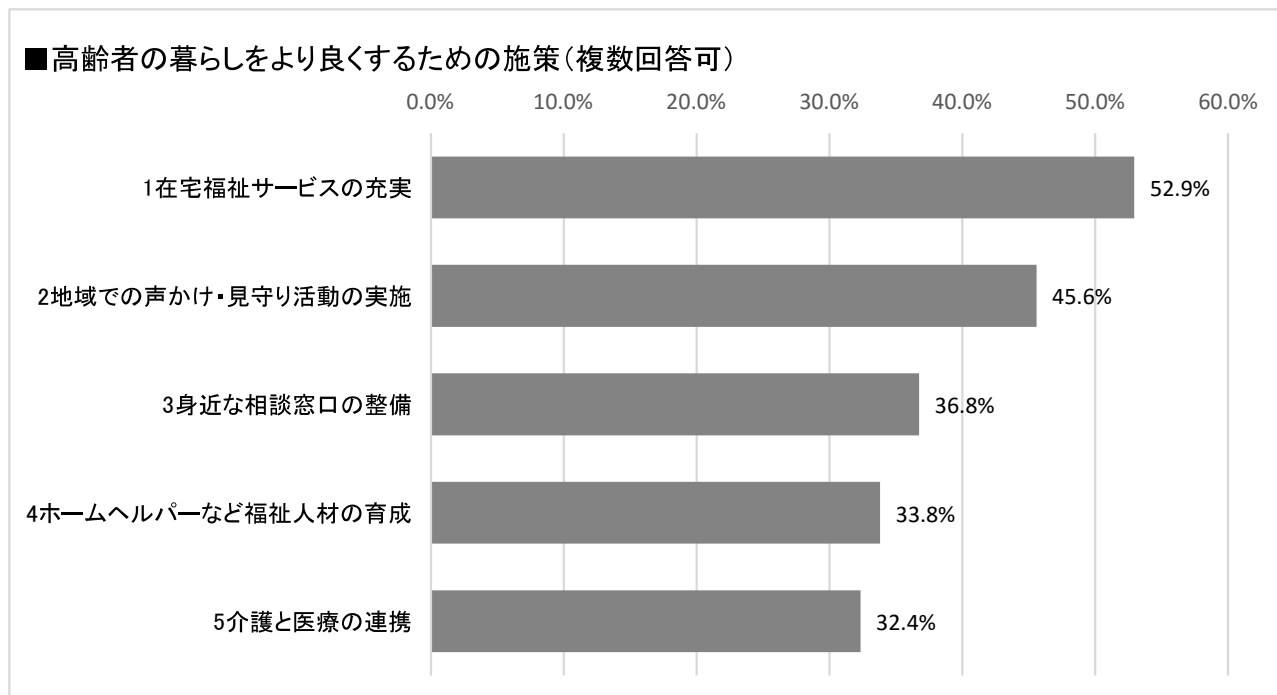


(3) 今後の施策について

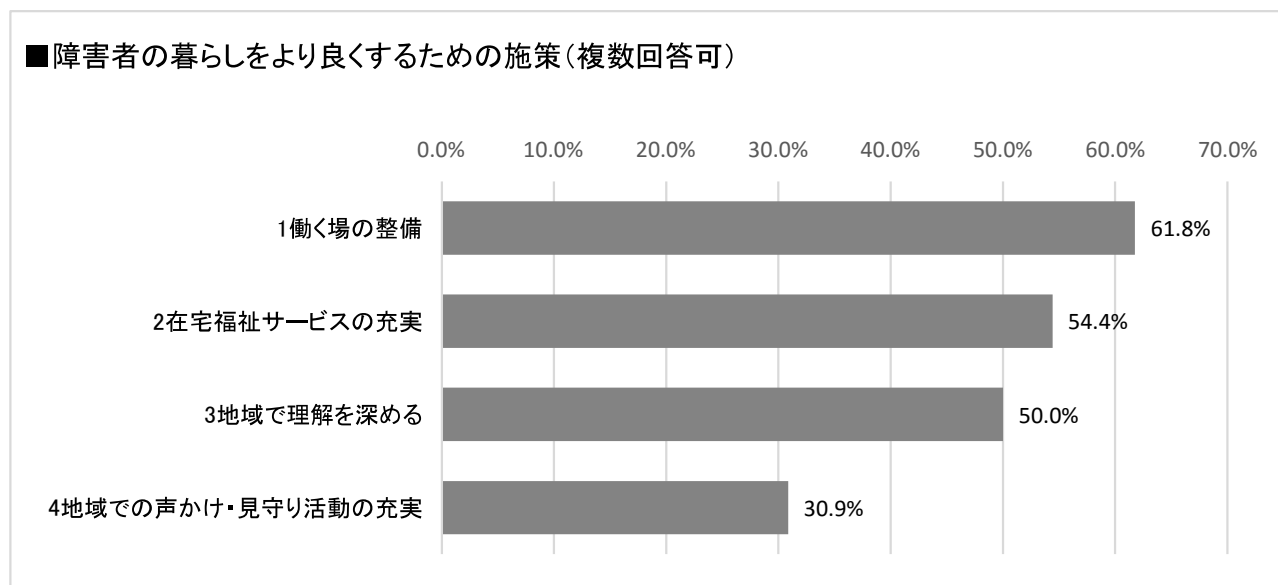
地域での暮らしをより豊かにするためには、どのようなことが必要かということを見ると、20%以上の上位項目は以下のようになっています。



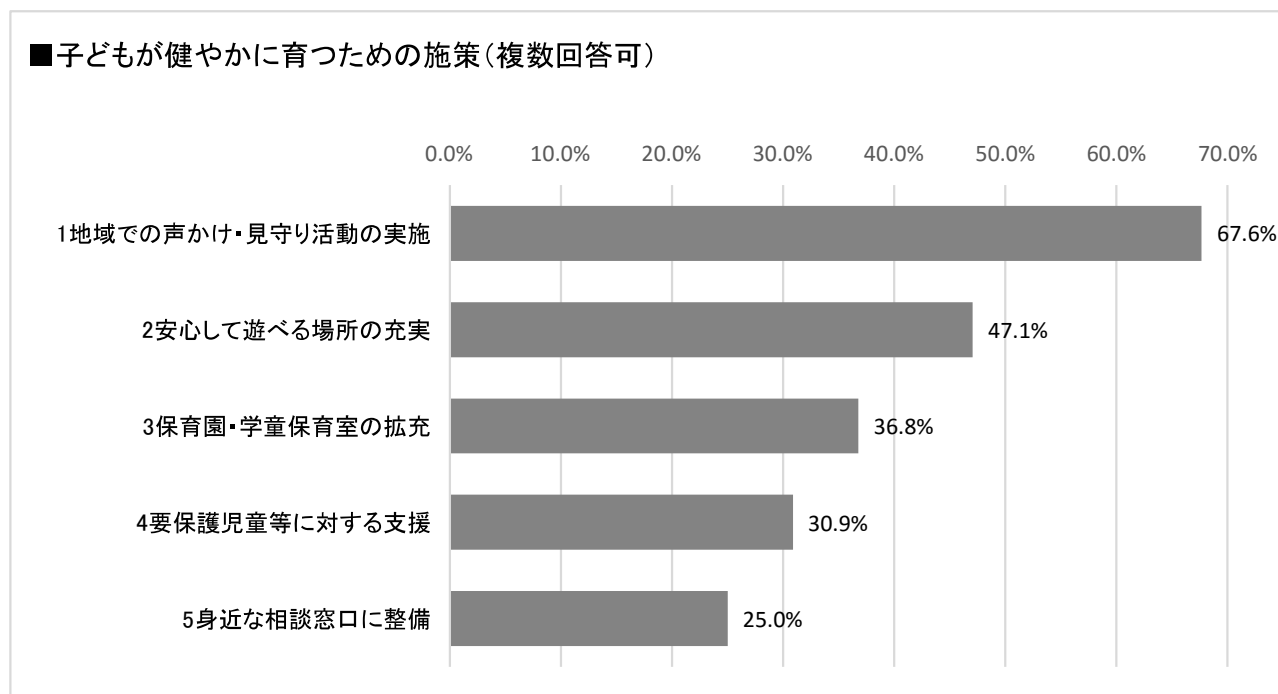
高齢者が安心して暮らすためには、どのようなことが必要かということを見ると、20%以上の上位項目は以下のようになっています。



障害のある人が生きがいを持って暮らすためには、どのようなことが必要かということを見ると、20%以上の上位項目は以下のようになっています。



子どもが健やかに育つためには、どのようなことが必要かということを見ると、20%以上の上位項目は以下のようになっています。



（４）民生委員からの意見聴取

■活動の中で、地域の人からどのような困りごと、問題を聞きますか。

地域のつながりについて

- ・若い人の自治会未加入により自治会役員の高齢化が進んでいる。
- ・世代間の交流が少ない。
- ・少子化問題があり、子ども会がなくなった。
- ・地域活動に対する若い人からの協力が少ない。
- ・地域での活動ができる場所が少ない。空き家を活用できないか。
- ・近所に住んでいる人（特に外国人）のことがわからない。

地域ぐるみでの見守りの推進について

- ・単身高齢者が増加、日常生活はどうかできているが、緊急時の不安の訴えがある。
- ・高齢者と同居しているが、今後の病気や介護の不安がある。
- ・高齢者しかおらず、老々介護の問題が発生している。
- ・独居の高齢者の中には、関わろうとしても、それを嫌がる人もいるので、その兼ね合いが難しい。

生活環境の整備・充実について

- ・交通アクセスが悪く、買い物・通院に困る。
- ・高齢で免許を返納したいが、交通の便が悪く返納できない。
- ・もっと移動販売が充実すると良い。
- ・公共交通手段を充実させてほしい。
- ・通学路でも歩道が少なく不安である。
- ・空き家が増え、不衛生となっている。

そ の 他

- ・防災無線がはっきりわからない。
- ・困ったときにどこに相談に行ったらいいかわからない。
- ・ゴミのポイ捨てが多い。
- ・ゴミ出しのマナーが悪い所がある。



Ⅲ 指標の現状

項 目	事業名	指 標	現 状
I-1-(1)	市民活動サポートセンター機能の強化【市民活動推進課】	相談・問合せ件数	114 件
I-1-(1)	ボランティアセンターへの活動支援【社会福祉課】	登録ボランティア団体数	58 団体
I-1-(1)	青少年相談員に対する活動支援【高齢者福祉課】	青少年相談員主催事業数	9 回 (元年度)
I-1-(2)	高齢者見守りネットワークの充実【高齢者福祉課】	高齢者見守り協定事業者数	69 事業者
I-1-(2) Ⅳ-1-(1)Ⅳ-2-(2)	民生委員・児童委員の活動支援【社会福祉課】	研修回数	1 回 (元年度)
I-2-(1)	とみさと市民活動フェスタの開催、 地域のイベント情報提供【市民活動推進課】	Facebook 投稿数	145 回
I-2-(2)	既存公共施設の有効活用	コミュニティセンター利用者数【市民活動推進課】	97,566 人 (元年度)
I-2-(2)		福祉センター利用者数【社会福祉課】	12,993 人 (元年度)
Ⅱ-1-(1)	避難行動要支援者名簿の作成【社会福祉課】【高齢者福祉課】	名簿登録者のうち提供同意者の割合	44.3%
Ⅱ-1-(1)	防災訓練の実施【防災課】	防災訓練実施回数	2 回
Ⅱ-1-(2)	地域防犯体制の強化【市民活動推進課】	青色防犯パトロール実施回数	493 回
Ⅱ-1-(3)	社会を明るくする運動の実施【社会福祉課】	運動の参加人数	50 人弱 (元年度)
Ⅱ-2-(1)	住宅改修費の助成	住宅改修申請件数【高齢者福祉課】	113 件
		住宅改修助成件数【社会福祉課】	1 件
Ⅱ-2-(2)	移送サービス事業の実施【高齢者福祉課】	移送サービス利用回数 移送サービス利用者数	1433 回 79 人
Ⅱ-2-(2)	福祉カー（スロープ付き車両）の貸出しの実施【高齢者福祉課】	福祉カー利用回数	12 回



第1部 地域福祉計画

資料編

Ⅲ 指標の現状

項 目	事業名	指 標	現 状
Ⅱ-2-(2)	重度心身障害者に対するタクシー利用料の助成【社会福祉課】	タクシー券発行件数	230 冊
Ⅱ-3-(1)	自主的な健康づくりの推進【健康推進課】	がん検診精密検査受診率 (5大がん平均)	74.3%
Ⅱ-3-(2)	介護予防の普及啓発【高齢者福祉課】	出前講座開催日数	10～12 回 (元年度)
Ⅱ-3-(2)	認知症対策の推進【高齢者福祉課】	認知症短期初期集中支援 チーム要支援者数	13 人
Ⅱ-3-(2)	健康づくりのための運動の啓発	120万歩健康ウォーキング事業参加人数 【健康推進課】	354 人 (元年度)
		とみさと健康ちょきん体操実施団体数 【高齢者福祉課】	15 団体
Ⅱ-4-(1) Ⅳ-2-(2)	とみさと協働塾の開催【市民活動推進課】	まちづくりサポーター登録 者数	33 名
Ⅱ-4-(2)	各種教室・大会の開催【生涯学習課】	スポーツ協会主催大会・教 室開催回数	57 回 (元年度)
Ⅲ-1-(2)	地域包括支援センターの機能強化【高齢者福祉課】	相談件数	8,795 件
Ⅲ-1-(3)	基幹相談支援センターの充実【社会福祉課】	相談件数	2,100 件
Ⅲ-1-(3)	子どもの発達支援に関する事業の充 実【社会福祉課】	マザーズホーム利用者数 ことばの相談室利用者数	4,000 人 1,800 人
Ⅲ-1-(4)	子育て支援センターの充実【子育て支援課】	利用者数	21,605 人 (元年度)
Ⅲ-1-(5)	きょうざん塾の実施【学校教育課】	参加した児童生徒数	95 人 (元年度)
Ⅲ-2-(1)	広報紙の充実【広報情報課】	市公式LINEの登録件数	3,138 件
Ⅲ-2-(1)	ホームページの充実【広報情報課】	ホームページアクセス数	1,402,278 件
Ⅲ-2-(2)	関連メール登録等の推進【防災課】	登録件数	7,663 件
Ⅲ-3-(2)	消費者行政の推進【商工観光課】	啓発活動の実施回数 (出前講座を含む)	16 回 (元年度)

※コロナウイルス感染拡大等の影響により、イベント等の現状については近々の実績となっています。



Ⅳ 計画の検討組織について

1 富里市地域福祉審議会

●富里市地域福祉審議会設置条例

平成29年12月19日条例第17号

(設置)

第1条 市は、地域福祉及び障害福祉施策の総合的かつ計画的運営に関する事項を調査審議するため、富里市地域福祉審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議し、市長に答申する。

- (1) 地域福祉及び障害福祉施策に係る長期計画等に関すること。
- (2) 地域福祉及び障害福祉施策の推進及び運営に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、地域福祉及び障害福祉施策に関し、市長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 保健、医療及び福祉関係者
- (3) 公募による市民

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要に応じて関係者等の出席を求め、参考意見又は説明を聴取することができる。

(部会)

第7条 審議会は、地域福祉施策等の幅広い意見を聞くため、必要に応じて部会を置くことができる。



第 1 部 地域福祉計画

資料編

IV 計画の検討組織について

(庶務)

第 8 条 審議会の庶務は、地域福祉施策主管課において処理する。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

(準備行為)

2 第 3 条第 2 項の規定による委員の委嘱に関し必要な行為は、この条例の施行の日前においてもすることができる。



2 富里市地域福祉計画等推進本部

●富里市地域福祉計画等推進本部設置要綱

平成 27 年 4 月 1 日制定

(設置)

第 1 条 富里市地域福祉計画及び富里市障害者基本計画を策定するに当たり、策定作業を効果的に推進するため、富里市地域福祉計画等推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 本部の所掌事務は、次に掲げる事項とする。

- (1) 地域福祉計画及び障害者基本計画の総合調整及び決定
- (2) 地域福祉計画及び障害者基本計画推進に関する総合調整
- (3) その他地域福祉計画及び障害者基本計画に関して必要と認められる事項

(組織)

第 3 条 本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織し、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第 4 条 本部長は、会務を総理し、本部を代表する。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第 5 条 本部の会議は、本部長が招集し、本部長が議長となる。

2 会議は、本部員過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、本部長の決するところによる。

4 本部長は、会議の審議の必要がないと認めるものについては、本部員の回議をもって会議の審議に代えることができる。

5 本部長は、必要があると認めるときは、関係職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

(委員会の設置)

第 6 条 本部の円滑な運営を図るため、本部に富里市地域福祉計画等庁内検討委員会を設置する。

(事務局)

第 7 条 本部の庶務は、健康福祉部社会福祉課において処理する。

(補則)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項については、会議を経て、本部長が決定するものとする。

附 則

この要綱は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。



第1部 地域福祉計画

資料編

IV 計画の検討組織について

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

富里市地域福祉計画等推進本部

区 分	職
本部長	副市長
副本部長	健康福祉部長
本部員	総務部長、企画財政部長、経済環境部長、都市建設部長、教育部長、消防長、総務課長、広報情報課長、防災課長、市民活動推進課長、企画課長、財政課長、社会福祉課長、生活支援課長、子育て支援課長、高齢者福祉課長、健康推進課長、農政課長、商工観光課長、環境課長、建設課長、都市計画課長、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、図書館長、消防総務課長



3 富里市地域福祉計画庁内検討委員会

●富里市地域福祉計画庁内検討委員会設置要綱

平成 22 年 6 月 1 日制定

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、富里市地域福祉計画等推進本部設置要綱第 6 条に規定する富里市地域福祉計画（以下「福祉計画」という。）庁内検討委員会（以下「検討委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 検討委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 福祉計画の策定に係る調査研究に関すること。
- (2) 福祉計画の素案の立案に関すること。
- (3) 福祉計画の推進に関すること。

(組織)

第 3 条 検討委員会は、社会福祉課長及び別表に掲げる者をもって組織する。

(会議)

第 4 条 検討委員会は、必要に応じて社会福祉課長が招集し、その議長となる。

2 社会福祉課長は、必要に応じて関係職員の出席を求めることができる。

(庶務)

第 5 条 検討委員会の庶務は、健康福祉部社会福祉課が処理する。

(補則)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会に関し必要な事項は、社会福祉課長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。



第1部 地域福祉計画
資料編
Ⅳ 計画の検討組織について

別表（第3条関係）

富里市地域福祉計画庁内検討委員会

部等名	課等名	担 当
総務部	総務課	1名（人事給与班）
	広報情報課	1名
	防災課	1名
	市民活動推進課	1名（協働推進班）
企画財政部	企画課	1名
	財政課	1名
健康福祉部	社会福祉課	1名（障害福祉班）
	生活支援課	1名
	子育て支援課	1名（児童家庭班）
		1名（幼保連携班）
	高齢者福祉課	1名（介護保険班）
		1名（包括支援班）
	健康推進課	1名（成人保健班）
		1名（母子保健班）
経済環境部	商工観光課	1名
	環境課	1名
都市建設部	建設課	1名
	都市計画課	1名
教育部	教育総務課	1名
	学校教育課	1名
	生涯学習課	1名
	図書館	1名



4 答申

令和4年1月26日

富里市長 五十嵐 博文 様

富里市地域福祉審議会
会長 三木 康雄

第3次富里市地域福祉計画（案）について（答申）

令和3年10月6日付け富社第215号で諮問のあった第3次富里市地域福祉計画（案）について、当審議会において慎重に審議した結果、その内容は適切なものと認めます。

なお、計画の推進にあたっては、下記の事項について十分配慮されることを要望します。

記

- 1 本計画の基本理念は、近年の地域社会における課題や、新たな感染症蔓延に伴い生活様式が変化する中で重要な意義を持つものであることから、全ての主体がつながり、連携して計画を推進されたい。
- 2 全ての市民が地域福祉を享受するためには、一人ひとりが福祉を理解し、意識を形成することが必要であることから、福祉教育の推進、意識の醸成を推進し、持続可能な地域社会の形成に努められたい。
- 3 各事業の推進にあたっては、市民や各団体等のアンケート結果に見られる地域課題を念頭に置き、その解消に努められたい。
- 4 地域福祉推進の観点から、行政、民生委員・児童委員協議会などの関係団体、福祉事業者、さらに各自治会等と連携を図り、包括的な支援体制の構築を図られたい。
- 5 本計画が多くの人に理解と共有が図られ、誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進できるよう努められたい。



5 計画の策定経過

年 月 日	会 議 等
令和2年4月24日（金）	富里市地域福祉計画庁内検討委員会
令和2年11月6日（金）	富里市地域福祉計画等推進本部会議（第1回）
令和2年11月11日（水）	富里市地域福祉審議会
令和2年12月1日（火）～ 令和3年1月12日（火）	市民アンケート調査
令和3年2月5日（金）	富里市地域福祉計画等推進本部会議（第2回）
令和3年3月17日（水）	富里市地域福祉審議会
令和3年5月7日（金）	富里市地域福祉計画等推進本部会議（第3回）
令和3年5月19日（水）	富里市地域福祉審議会
令和3年6月17日（木）	富里市地域福祉計画庁内検討委員会
令和3年8月17日（火）	富里市地域福祉計画庁内検討委員会
令和3年10月1日（金）	富里市地域福祉計画等推進本部会議（第4回）
令和3年10月6日（水）	富里市地域福祉審議会
令和3年11月10日（水）	富里市地域福祉計画庁内検討委員会
令和4年1月4日（金）～ 令和4年1月24日（月）	パブリックコメント
令和4年1月26日（水）	富里市地域福祉審議会
令和4年2月4日（金）	富里市地域福祉計画等推進本部会議（第5回）

